



ソフトバンクグループ株式会社

第 44 回定時株主総会

2024 年 6 月 21 日

免責事項

本資料は、ソフトバンクグループ株式会社（以下「SBG」）及びその子会社（以下 SBG と併せて「当社」）並びに関連会社（以下当社と併せて「当社グループ」）に関する関連情報を提供するものであり、すべての法域において、いかなる証券の購入又は応募の申込みを含む、いかなる投資勧誘を構成又は形成するものではありません。

本資料には、当社グループの推定、予測、目標及び計画を含む当社グループの将来の事業、将来のポジション及び業績に関する記述など当社グループの将来の見通しに関する記述、見解又は意見が含まれています。将来の見通しに関する記述には、特段の限定を付すことなく、「目標とする」、「計画する」、「確信する」、「希望する」、「継続する」、「期待する」、「目的とする」、「意図する」、「だろう」、「かもしれない」、「であるべきである」、「したであろう」、「できた」、「予想する」、「推定する」、「企図する」若しくは類似する内容の用語若しくは言い回し又はその否定形などが含まれています。本資料に記載されている将来の見通しに関する記述は、当社グループが本資料の日付現在において入手可能な情報を踏まえた、当社グループの現在の前提及び見解に基づくものです。これら将来の見通しに関する記述は、当社グループのメンバー又はその経営陣による将来の業績を保証するものではなく、当社グループのビジネスモデルの成功、当社グループの資金調達力及びその資金調達条件の影響、SBG の重要な経営陣に関するリスク、当社グループの投資活動に関する又はこれに影響を与えるリスク、SB ファンド（下記で別途定義）並びにその投資、投資家及び投資先に関するリスク、ソフトバンク株式会社及びその事業の成功に関するリスク、法令・規制・制度などに関するリスク、知的財産権に関するリスク、並びに訴訟を含むこれらに限られない既知及び未知のリスク、不確実性その他要因を含み、これらの要因により、実際の当社グループの実績、業績、成果又は財務状態は、将来の見通しに関する記述において明示又は黙示されている将来の実績、業績、成果又は財務状態と著しく異なる可能性があります。当社グループの実績、業績、成果又は財務状態に影響を与える可能性のあるこれら及びその他の要因については、SBG のホームページの「事業等のリスク」

(https://group.softbank/ir/investors/management_policy/risk_factor) をご参照下さい。当社グループ及びその経営陣は、これら将来の見通しに関する記述に明示されている予想が正しいものであることを保証するものではなく、実績、業績、成果又は財務状態は、予想と著しく異なる可能性があります。本資料を閲覧する者は、将来の見通しに関する記述に過度に依拠してはなりません。当社は、本資料に記載される将来の見通しに関する記述その他当社が行う将来の見通しに関する記述を更新する義務を負いません。過去の業績は、将来の実績を示すものではなく、本資料に記載される当社グループの実績は、当社グループの将来の実績の予測若しくは予想の指標となるものではなく、又はこれを推定するものでもありません。

本資料に記載されている当社グループ以外の企業（SB ファンドの投資先を含みますが、これに限られません。）に関わる情報は、公開情報等から引用したものであり、当社は、情報の正確性又は完全性について保証するものではありません。

商標について

本資料に記載されている企業、製品及びサービスの名称は、各企業の商標又は登録商標です。

重要なお知らせ—SBG の普通株式の取引、スポンサーなし ADR（米国預託証券）に関する免責事項

SBG の普通株式の売買を希望する場合には、当該普通株式が上場され、主に取引が行われている東京証券取引所において売買を行うことを推奨します。SBG の開示は、スポンサーなし ADR（以下「ADR」）の取引の促進を意図するものではなく、ADR の取引判断を行う際にこれに依拠すべきではありません。SBG は、SBG の普通株式に関するスポンサーなし ADR プログラムの設立又はそれに基づき発行される ADR の発行若しくは取引について、過去及び現在において、参加、支援、推奨その他同意を行ったことはありません。SBG は、ADR 保有者、銀行又は預託機関に対して、(i)SBG が 1934 年米国証券取引所法（以下「証券取引所法」）で定めるところの報告義務を負うこと、又は、(ii)SBG のホームページに、SBG が証券取引所法ルール 12g3-2(b)に従って証券取引所法に基づく SBG の普通株式の登録の免除を維持するために必要な全ての情報が継続的に掲載されることを表明するものではなく、また、当該者又は機関は、そのように信じてはなりません。適用ある法が許容する最大限の範囲において、SBG 及び当社グループは、SBG の普通株式を表象するスポンサーなし ADR に関連して、ADR 保有者、銀行、預託機関その他企業又は個人に対するいかなる義務又は責任を否認します。

上記の免責事項は、ソフトバンク株式会社や LINE ヤフー株式会社などの、スポンサーなし ADR プログラムの対象であるか又は将来対象となる可能性のある当社グループの証券に同様に適用されます。

本資料に記載されるファンド情報に関するお知らせ

本資料は、情報提供を目的として提供されるものであり、法律上、税務上、投資上、会計上その他の助言又は SB Global Advisers Limited（以下「SBGA」）、SB Investment Advisers (UK) Limited（以下「SBIA」）及びそれらの関係会社を含む SBG の子会社（以下併せて「SB ファンド運用会社」）により運用されるいずれかのファンド（文脈に応じて、パラレル・ファンド、フィーダー・ファンド、共同投資ビークル又はオルタナティブ投資ビークルと併せて「SB ファンド」）のリミテッド・パートナーシップ持分又は同等の有

限責任持分の販売の申込み又は申込みの勧誘を行うものではなく、また、いかなる方法でもそのように依拠してはなりません。疑義を避けるために付言すると、SB ファンドは、他のファンド同様、SBIA とその関係会社によって運用されている SoftBank Vision Fund L.P.（文脈に応じて、あらゆるパラレル・ファンド、フィーダー・ファンド、共同投資ピークル又はオルタナティブ投資ピークルと併せて以下「ビジョン・ファンド 1」）、SBGA とその関係会社によって運用されている SoftBank Vision Fund II-2 L.P.（文脈に応じて、あらゆるパラレル・ファンド、フィーダー・ファンド、共同投資ピークル又はオルタナティブ投資ピークルと併せて以下「ビジョン・ファンド 2」）及び SBGA とその関係会社によって運用されている SBLA Latin America Fund LLC（文脈に応じて、あらゆるパラレル・ファンド、フィーダー・ファンド、共同投資ピークル又はオルタナティブ投資ピークルと併せて以下「ラテンアメリカ・ファンド」）を含みます。

SB ファンド（ビジョン・ファンド 1 及びビジョン・ファンド 2 並びにラテンアメリカ・ファンドを含む）、SB ファンド運用会社、SB ファンド運用会社により運用される後続又は将来のファンド、SBG 又はそれぞれの関係会社のいずれも、本資料に記載されている情報の正確性又は完全性について、明示又は黙示であるにもかかわらずこれを表明又は保証するものではなく、また、本資料に記載されているパフォーマンスに関する情報は SB ファンドその他本資料に言及される企業の過去若しくは将来のパフォーマンス又は SB ファンド運用会社により運用される後続ファンド、将来組成されるファンドの将来のパフォーマンスについての確約又は表明として依拠してはなりません。

SB ファンドその他本資料に言及される企業のパフォーマンスに関する情報は、背景説明のみを目的として記載されるものであり、関連する SB ファンド、本資料に言及されるその他のファンド又は SB ファンド運用会社により将来運用されるファンドの将来のパフォーマンスを示すものとして考慮されるべきではありません。SB ファンドの特定の投資対象に関する情報への言及は、それに含まれる範囲において、関連する SB ファンド運用会社の投資プロセス及び運用方針を説明することのみを目的として述べられたものであり、特定の投資対象又は証券の推奨として解釈してはなりません。SB ファンドのパフォーマンスは各個別の投資においてそれぞれ異なる可能性があり、個別に言及した取引のパフォーマンスは、必ずしも全ての適用される従前の投資のパフォーマンスを示唆するものではありません。本資料において記載及び説明される特定の投資は、関連する SB ファンド運用会社が行う全ての投資を示すものではなく、本資料において記載及び検討される投資が利益を生んだ又は将来利益を生むと仮定すべきではありません。

本資料に記載される SB ファンドのパフォーマンスは、ポートフォリオ投資の未実現の評価額に基づくものです。未実現の投資評価額は、関連する SB ファンド運用会社がそれぞれ特定の投資に関する状況に基づき合理的とみなす前提及び要因（例えば、評価日現在における類似の会社の平均株価収益率その他勘案事項等を含みます。）に基づくものです。しかしながら、未実現の投資評価額が本資料に記載されている金額又は本資料に記載されているリターンを算定するために用いられる金額で実現されるという保証はありません。また、かかる実現に関連する取引費用が未知であるため、当該取引費用は、かかる算定に含まれません。未実現額の見積りは、常に変化する多くの不確定要素の影響を受けます。関連する SB ファンドの未実現の投資に対する実際の実現リターンは、いくつかの要因がある中で特に、将来の運用実績、処分時の資産価格及び市況、関連する取引費用並びに売却の時期及び方法によって決まるものであり、これらの要因は全て、関連する SB ファンド運用会社の評価の根拠となった前提及び状況と異なる可能性があります。

過去のパフォーマンスは、必ずしも将来の実績を示すものではありません。SB ファンド又は SB ファンド運用会社により運用される将来のファンドのパフォーマンスは、本資料に示されるパフォーマンス情報よりも大幅に低くなる可能性があります。各 SB ファンド又は関連する SB ファンド運用会社により運用されるいずれか将来のファンドが、本資料に示される実績と同等の実績を達成するという保証はありません。

本資料に記載される第三者のロゴ及びベンダー情報は、説明目的のためにのみ提供されるものです。かかるロゴの記載は、かかる企業又は事業との提携又はその承認を示唆するものではありません。SB ファンド運用会社、SB ファンドのポートフォリオ会社、SB ファンド運用会社により運用される将来のファンドの将来のポートフォリオ会社、又は SBG が、本資料に記載されるロゴを有する企業又は事業のいずれかと今後業務を行うという保証はありません。

SBGA 及び SBIA は、ビジョン・ファンド 1、ビジョン・ファンド 2 及びラテンアメリカファンドの運用に関して、相互に SBG からそれぞれ別個独立した業務プロセスを採っています。SBGA 又は SBIA によって運用される SB ファンドは、それぞれ SBGA 単独又は SBIA 単独で運用されています。

イベント概要

[日程] 2024年6月21日

[時間] 午前10時3分～午後0時3分（開催時間：2時間）

[登壇者] 13名

代表取締役 会長兼社長執行役員	孫 正義	（以下、孫）
取締役 専務執行役員 CFO 兼 CISO	後藤 芳光	（以下、後藤）
取締役	宮内 謙	（以下、宮内）
取締役	レネ・ハース	（以下、レネ）
社外取締役 独立役員	飯島 彰己	
社外取締役 独立役員	松尾 豊	
社外取締役 独立役員	襟川 恵子	（以下、襟川）
社外取締役	ケン・シーゲル	
社外取締役 独立役員	デビッド・チャオ	
常勤社外監査役 独立役員	遠山 篤	
常勤社外監査役 独立役員	中田 裕二	
社外監査役	宇野 総一郎	
社外監査役 独立役員	大塚 啓一	

[報告事項]

- ・2023年度（2023年4月1日から2024年3月31日まで）事業報告、連結計算書類ならびに会計監査人および監査役会の連結計算書類監査結果報告の件
- ・2023年度（2023年4月1日から2024年3月31日まで）計算書類報告の件

[決議事項]

- 第1号議案 剰余金の処分の件
- 第2号議案 取締役9名選任の件

登壇

孫：おはようございます。孫です。今日、ちょっとアレルギーで声が枯れていますが、元気です。一昨日とその前の2日間、実は3時間しか寝ていないのですが、今日は4時間寝ましたから、もうばっちりです。

頭がすきっとしてはいますが、大体脳がワーッと考えているときは、脳が興奮しているのだと思うのです。大体夜の1時半ぐらいになると寝るのですが、3時間ぐらいして4時半ぐらいになると勝手に脳が起きちゃうのです。

そこからワーッと考えて、良いアイデアを思いついたから書かなきゃと、ノートに書いて、社長室のスタッフに僕がノートに書いたアイデアを写真に撮って送るのです。24時間365日、誰かが必ず5分以内にアクションするルールになっています。

だから、僕は24時間、いつでも考えをアクションに起こせる体制をとっています。彼らがTo Do リストを毎日300個ぐらい更新していて、黄色マーク、赤色マークになっているようなところは、誰が今日対策をするという体制でやっているのです。

この1年間、ずっと複雑な連立方程式みたいなものを解いていたのが、2日前とその前の3時間睡眠で、ワーッとドーパミンが出ていたのですね。朦朧としたときに大体ふっとアイデアが出るのですが、今日はずいにそれが解けたのですよ。1年間ガーッと考えたのが、今日の朝4時に解けたのです。やった！って、そこから慌ててアメリカに電話しまくって、こうだろう、ああだろうと確認したら、その通りだということで、今日は総会どころではないと、嬉しくてしようがないということです。

それでも、総会も大事なイベントですから、やりましょう。今日は本当にご多忙のところ、誠にありがとうございます。

株主の皆さまへ



平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。当社の第44回定時株主総会招集ご通知をお届けいたします。

2023年度は、AIの普及が本格化する中、AI向け半導体市場の拡大などを背景に、米国をはじめとする株式市場が活況を呈しました。このような環境の下、当社子会社のアームは、2023年9月14日にNasdaq Global Select Marketへ上場しました。こうした市場の活況とアームの株価上昇などにもない、当社の最重要指標の一つであるNAV^(注1)は2024年3月末時点で27.8兆円（前年度末比13.7兆円増）と過去最高水準まで回復しました。また、LTV^(注2)は8.5%（同2.5ポイント改善）、手元流動性^(注3)は4.6兆円（今後4年分の社債償還資金に相当）と、財務の安全性と十分な資金余力を維持することができました。

業績については、連結純損失^(注4)が2,276億円となりました。持株会社投資事業で

4,590億円、ソフトバンク・ビジョン・ファンド事業で1,673億円の投資損失を計上したほか、2023年度も前年度に続き一年を通じて円安傾向が続いたため為替差損を7,031億円計上するに至りました。

ソフトバンクグループは、「情報革命で人々を幸せに」という経営理念の下、NAVのさらなる向上に取り組んでおり、2024年度は、財務方針を堅持しつつ今後のNAVの成長につながる投資機会を追求し、来るべきAGI（Artificial General Intelligence）の到来に向けた取り組みをすすめてまいります。株主の皆さまにおかれましては、ご理解とご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

2024年5月29日

- (注) 1. Net Asset Value、保有株式価値－調整後純有利子負債で算出
2. Loan to Value、保有資産に対する負債の割合で、調整後純有利子負債÷保有株式価値で算出。保有株式価値および調整後純有利子負債は、いずれもアセットバック・ファイナンスにおける満期決済金額または借入金を除く。また、調整後純有利子負債の算出からは、当社グループのうち、上場子会社であるソフトバンク(株)（LINEヤフー(株)およびPayPay(株)をはじめとする子会社を含む）およびアーム、ならびにSVF 1、SVF 2、LatAmファンドなど独立採算で運営される事業体に帰属する有利子負債および現預金等（債券投資を含む）を除く。なお、SB Northstarの有利子負債（ただし、特定の有利子負債を除く）および現預金等（債券投資を含む）は調整後純有利子負債の算出に含む。
3. 現金および現金同等物＋流動資産に含まれる短期投資＋債券投資＋コミットメントライン未使用枠。当社単体ベース（SB Northstarを除く。ただし現金および現金同等物ならびに債券投資は含む）。
4. 親会社の所有者に帰属する純損失

2

それでは、定款第13条の定めにより、議長は私が務めさせていただきます。第44回定時株主総会を開会します。もうソフトバンクをつくって44年経ったと、大概年になってきたから、もう枯れてもいい頃なのですが、今からが燃え盛りです。

本総会は、インターネットを通じて議決権行使や質問なども可能なインターネット出席の方法を採用しています。

本会議の目的事項は当社ウェブサイトに記載の通りです。併せて、議案の審議に必要な定足数を満たしていることを報告します。

それでは、今後の進行方法について、司会から説明します。

司会：まず、報告事項の報告、決議事項の内容説明および事業戦略説明の後に、すべての報告事項および決議事項についての質疑応答に移り、質疑応答終了後は、決議事項につき、採決のみを行わせていただきたいと思います。

議決権行使に関して、ご来場株主さまは拍手にて、インターネット出席の株主さまはインターネットからの入力にて、それぞれ確認させていただきます。また、インターネット出席の株主さまの議決権行使はすでに可能ですが、一度行使された場合、行使内容の修正はできませんのでご注意ください。

質疑応答は、決議事項の内容説明および事業戦略説明の後、まず、事前にいただいたご質問に回答いたします。その後、ご来場株主さまから一括して、口頭でのご発言をお受けいたします。多くの株主さまからご質問いただくべく、ご質問はお一人さま1問までとさせていただきます。

なお、ご来場株主さまからのご発言についてはすべてこの機会にお受けし、インターネット出席株主さまのご発言に対する質疑応答の開始時点で締め切らせていただきます。

その後、インターネット出席株主さまから本日入力いただいたご発言に回答いたします。インターネットからのご発言の受付はすでに開始しており、締切は質疑応答開始から5分後までとさせていただきます。インターネット出席株主さまで、ご質問、動議を希望される方は200文字以内で入力、送信をお願いします。なお、インターネット出席株主さまからのご質問は、お一人さま1問、動議につきましても、同一の種類の動議に関しては1回のみ取り上げさせていただきます。

また、手続きに関する動議について、インターネット出席株主さまからの動議の場合、その採決はご来場株主さまからのご発言への回答の後にまとめて行わせていただきます。議案に対する修正動議がございました場合、ご来場株主さまからのもの、インターネット出席株主さまからのものいずれの場合も、会社提案の原案と一括で審議し、採決の際には原案から先に採決させていただきます。

以上、進行方法についてご説明いたしました。

孫：それでは、この進行方法でよいかどうか、皆さんの採決をとりたいと思います。よろしいでしょうか。ご賛成の会場の方は拍手をお願いします。

[拍手]

今、会場から拍手をいただきました。ありがとうございます。インターネットで参加の皆さんも、拍手ボタンをお願いします。それでは、採決の結果を確認しますので、しばらくお待ちください。

ありがとうございました。賛成が過半数に達しましたので、この方法で行わせていただきます。

報告事項はご覧の通りです。

報告事項

報告事項の内容は、当社ウェブサイトに掲載しております以下のとおりです。

- **招集通知** 20ページから61ページまで
- **交付書面省略事項** 3ページから79ページまで

また、事業概要のビデオを用意していますので、ご覧いただきたいと思います。約 10 分間です。

映像：情報革命で人々を幸せに。2023 年度のソフトバンクグループは、創業以来、変わらぬ経営理念のもと、情報革命を牽引。来るべき AGI 時代の到来を見据えて、さまざまな活動に取り組みました。

2023 年度の売上高は、前年度比 2.8%増の 6 兆 7,565 億円となりました。連結の投資損失は、5,594 億円となりました。純損失は、2,276 億円となりました。中間配当の 22 円と合わせた 2023 年度の年間配当は、1 株当たり 44 円を予定しており、2024 年度の配当は 2023 年度と同額を予定しております。

コンピュータープラットフォームを提供するアームは、テクノロジー企業による AI 投資の増加や、クラウド、自動車、IoT などのエンドマーケットの拡大を背景に、事業が順調に成長。データセンター向けチップでは、NVIDIA、Google、Microsoft、Amazon、Oracle などがアームベースチップを採用。アームの強みである高い電力効率を活かして、多様な市場でシェアを拡大しました。

2023 年度の売上高は、アーム史上最高の 32 億米ドルを計上しました。2023 年 9 月には、米国 Nasdaq Global Select Market に上場。半導体業界史上最大規模の上場を果たしました。今後も新しい技術分野への投資を行い、世界の AI の発展に最も貢献する企業を目指していきます。

AI を活用した成長可能性の大きな企業へ投資するソフトバンク・ビジョン・ファンド（以下「SVF」）事業では、厳選した新規投資と既存ポートフォリオの資金化を継続。2023 年度の投資利益は 7,243 億円を計上し、前年度比較で大幅な改善となりました。

セグメント利益は、3,901 億円が外部投資家に帰属する利益として控除され、1,282 億円となりました。SVF1 および SVF2 で、アームを含む 17 銘柄の株式売却を実行。合計 220 億米ドルで売却し、資金化を実施しました。

ファンド活動開始以来の累計損益は、SVF1 が 167 億米ドルのプラス。SVF2 が 193 億米ドルのマイナスとなりました。今後も、グローバルに変革をもたらす技術を持つ AI 企業の発掘および価値向上への取り組みを続けてまいります。

ソフトバンクグループ株式会社（以下「SBG」）は、戦略的投資持株会社として、直接または子会社を通じた投資活動を実施。当期のセグメント損失は 975 億円となりました。T モバイルの株価が好調に推移した結果、スプリントと T モバイル合併時の契約条件の一部を満たしたことにより、T モバイル株式 4,880 万株、1.1 兆円相当を無償で取得しました。

なお、T モバイルは、2024 年 3 月末時点で通信業界における時価総額世界 No.1 を達成し、大きな躍進を遂げました。

日本国内の通信事業を中心とするソフトバンク事業の 2023 年度のセグメント利益は、コンシューマ事業が増益に転じたほか、メディア・EC 事業およびエンタープライズ事業が増益となったことなどにより、前年度比 40.9%増の 8,351 億円となりました。

2023 年 5 月、ソフトバンク株式会社（以下「SBKK」）は、AI との共存社会を支える次世代社会インフラの構築を目指す「長期ビジョン」を発表しました。その実現に向けた取り組みの一環として、2023 年秋には国内最大級の AI 計算基盤を稼働。日本語に特化した国産大規模言語モデルの開発を本格的に開始しました。

また、2024 年度には、NVIDIA が開発した最先端 AI 計算基盤の世界で最も早い導入も予定しており、生成 AI 等への成長投資を加速しています。このような生成 AI の自社開発や、高まる AI 関連の利用ニーズに応えるため、北海道において次世代 AI データセンターの構築に着手。2026 年度の開業を目指しています。

加えて、メディア・EC 事業の中心である LINE ヤフー株式会社では、サービスの起点を強化し、生成 AI を活用しながら各サービスの更なる成長を図っています。今後も「デジタル化社会の発展に不可欠な次世代社会インフラの構築」に注力し、さらなる企業価値の向上を目指していきます。

財務戦略においては、財務方針を堅持しつつ、あらゆる変化に対応できる柔軟かつ機動的な財務運営を実践し、継続的な資金化を行う一方で、投資を拡大しました。財務方針としては、通常時のLTVを25%未満、異常時でも上限35%で運用。市場環境を考慮しながら、少なくとも2年分の社債償還資金を保持。加えて、投資事業や子会社からの継続的な配当などの収入を得ることで、財務の安定性を維持するよう努めています。

また、2024年3月末のLTVは8.4%と極めて安全な水準であり、手元流動性は4.7兆円と、今後2年分の社債償還資金1.7兆円を大幅に上回る水準となりました。

また、将来の成長機会を捉えた、積極的な戦略投資も展開。2023年度はAGI時代を見据えた最先端の技術分野を中心に、Symbotic、Berkshire GreyなどのAIロボティクス、産業オートメーション、Wayveなどの自動運転領域への投資を拡大、合計39億米ドルの投資を実行しました。

加えて、2024年3月末までに50億米ドルの戦略投資をコミットしており、2023年度は合計で約90億米ドル規模の投資活動を実行しました。2024年度は財務方針を堅持しつつ、潤沢な手元流動性の有効活用、戦略投資を支えるノンリコース調達 of 積極活用、ポートフォリオのモニタリング強化を行い、将来の成長に向けた投資を最優先に行っていきます。

社会の持続的な発展とソフトバンクグループの中長期的な成長のため、サステナビリティに関するさまざまな取り組みを実施しています。2023年度、社会・事業環境などの変化を踏まえ、優先して取り組むべきサステナビリティに関する重要課題を見直し、更新。特に優先度の高いものについて目標・アクションプランを設定しました。

最重要課題と位置づけた「責任あるAI」では、グループAIガバナンス体制の確立を目指します。

「気候変動」では、グループ目標である「2030年度カーボンニュートラル達成」に向けた温室効果ガス排出量削減計画を策定。「人的資本」では、プロフェッショナルな人材の確保と成長・活躍支援を継続的に行っていきます。

社会貢献活動としては、能登半島地震被災地の支援活動を行う非営利団体へ、従業員からの募金額と同額を会社が寄付したほか、グループ会社もさまざまな支援を実施しました。

今後も、持続可能な社会の実現に向けて、情報革命をリードする企業としての責任を果たしていきます。

SBGは、新しいビジネスモデルやテクノロジーの発展を加速させ、株主価値の最大化を目指し、未来に向けた挑戦を続けてまいります。情報革命で人々を幸せに。

孫：以上、ビデオを見ていただきました。ありがとうございました。

ここで、本日の決議事項を上程し、内容を説明します。各議案の詳細は当社ウェブサイトに掲載の通りです。

第1号議案は、剰余金の処分の件です。

株主総会参考書類

第1号議案 剰余金の処分の件

当社は、財務体質の健全性を保ちつつ、持続的成長に向けた積極的な投資と株主の皆さまへの利益還元を両立させることを基本方針としています。このような方針のもと、剰余金の配当につきましては、中間配当と期末配当の2回実施を原則として、当期の期末配当金を、次のとおりとしたいと存じます。

なお、中間配当（1株当たり22円）と合わせた年間配当は、1株当たり44円となります。

1 配当財産の種類
金銭

2 株主に対する配当財産の割当てに関する事項およびその総額
当社普通株式1株につき22円
総額 32,250,358,778円

3 剰余金の配当が効力を生じる日
2024年6月24日

第2号議案は、取締役9名選任の件です。

株主総会参考書類

第2号議案 取締役9名選任の件

現任取締役9名は、本総会終結の時をもって任期満了となりますので、取締役9名の選任をお願いするものです。

取締役候補者は次のとおりです。

候補者 番号	氏名	現在の当社における地位
1	再任 孫 正義	代表取締役 会長兼社長執行役員
2	再任 後藤 芳光	取締役 専務執行役員 CFO 兼 CISO
3	再任 宮内 謙	取締役
4	再任 レネ・ハース	取締役
5	再任 飯島 彰己	社外取締役 独立役員
6	再任 松尾 豊	社外取締役 独立役員
7	再任 襟川 恵子	社外取締役 独立役員
8	再任 ケン・シーゲル	社外取締役
9	再任 デビッド・チャオ	社外取締役 独立役員

8

ただ今から、今後の事業戦略について、私からプレゼンさせていただきます。本当はこれがやりたかったのですよね。皆さん今日来ていただいているのは、興味があるのは、SBGの株が高いのか、安いのか、これからどうなるのか。これが知りたいことのひとつだと思います。

もう一つは、目先のことではなくて、中長期でソフトバンクグループはどのようなビジョン、戦略で進もうとしているのかと。この二つが今日来ていただいた、あるいはインターネットで見られている人の関心ではないかと思っています。

最初に、業績について話をします。その後に、ビジョンについて語りたいと思います。

今、ビデオの中で説明がありましたように、売上が6兆円で2、3%伸びたとか、2,000億円から5,000億円赤字だぞとか、でもあっちの事業は伸びているとか、僕が見てもよく分からないということです。

株主価値の増大

2

株主価値を増やすというのは、どういうことなのか。僕はそもそも論を話してみたいと思います。

株主価値の増大

進化

×

増殖

3

僕の捉え方は、自分のビジネスモデルを進化させ、よそにないものをつくったら、今度はそれを営業力で売りまくる。これが進化と増殖ということだと思うのです。

結局、44年やってきましたが、振り返ってみたら、この1ページに尽きるのではないかと思います。進化がないと、競争相手が安い値段でいずれ取りにくるわけです。日本経済が30年ぐらい全然伸びていないのも、日本から大きな産業の進化があまり出てきてない、安い国々に徐々に取られていると。

あるいは、進化はアメリカ中心に起きているということで、進化しているアメリカと、安く真似して大量につくる賃金の国々に取られて、日本はずっと横ばいだと、こういうことではないかと思うのです。

株主価値



株主価値 (NAV) = 保有株式 - 純負債

SBGの最重要指標

4

株主価値を数字で見ると、保有している株の価値から純負債、借入を引いたものだと思います。

皆さん、投資家だから何となくわかると思うのですが、NTTさん、トヨタさん、SBG、パナソニックさんなど、いろいろな会社の株を10銘柄ぐらい持っていたとします。

それぞれの会社の利益がどうだった、売上がどうだったか、これをいちいち足し算して、自分は合計いくらの利益、あるいはマイナスを持っているのだ、という財務会計的な計算をしますか？10銘柄ぐらいの異なった株を持っているとしたら、いくらの株価で投資したのか、その株価がいくらになっているのかと。100万円投資したものが200万円になった。でも、借入が30万円あったな

らば、200万円の株主価値に対して30万円を引いて、残り170万円が株主としての皆さんの純粋な財産ということだと思っております。

1兆円以上の大企業になると、事業部門が10個以上あったりするわけですから、それぞれの事業部門が上場会社だったとしたら、いくら株式価値になっているのだろうと。それを売却したり、買収したり、あるいは増大したりということで、ポートフォリオ戦略でやるべきだと思っております。つまり、大企業の経営者は本来、皆、投資家目線で自分の事業部門を見るべきだと思っております。

孫正義は投資家なのか、事業家なのかとよく質問されます。僕は両方だと思っております。大企業の経営者でその両方の観点で見られない人は、社長失格ではないかと僕は思うのです。ですから、事業家なのか、投資家なのかという質問ははっきり申し上げて愚問であると。大企業の社長は、財務会計でものを判断するのではなく、自分の持っている事業部門のそれぞれの企業価値を毎日値洗いし、毎日その価値を測るべきだと思います。これが、大きなものの考え方ですね。

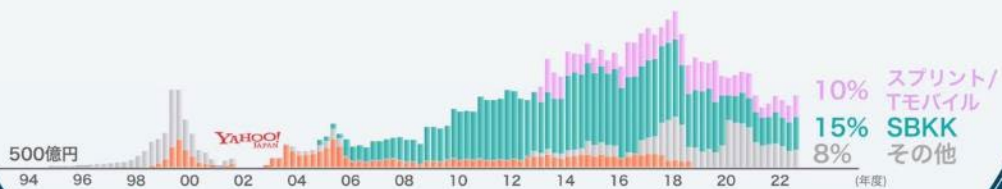
SBGで、毎日僕が日報で見ているのは、われわれのグループ全体の株式価値の合計、そしてグループ全体のわれわれとしての純負債です。借入、借金大魔王のように言われますが、僕は借入が得意なのです、好きなのですよ。でも、その借入は成長のための材料だと僕は思っているのです。

大事なことは、持っている株の価値に対して、借入を引いて、その差し引いた純株主価値を最大化していくことだと思います。

44年を振り返ってみたいと思います。結局、進化と増殖の歴史であったということです。

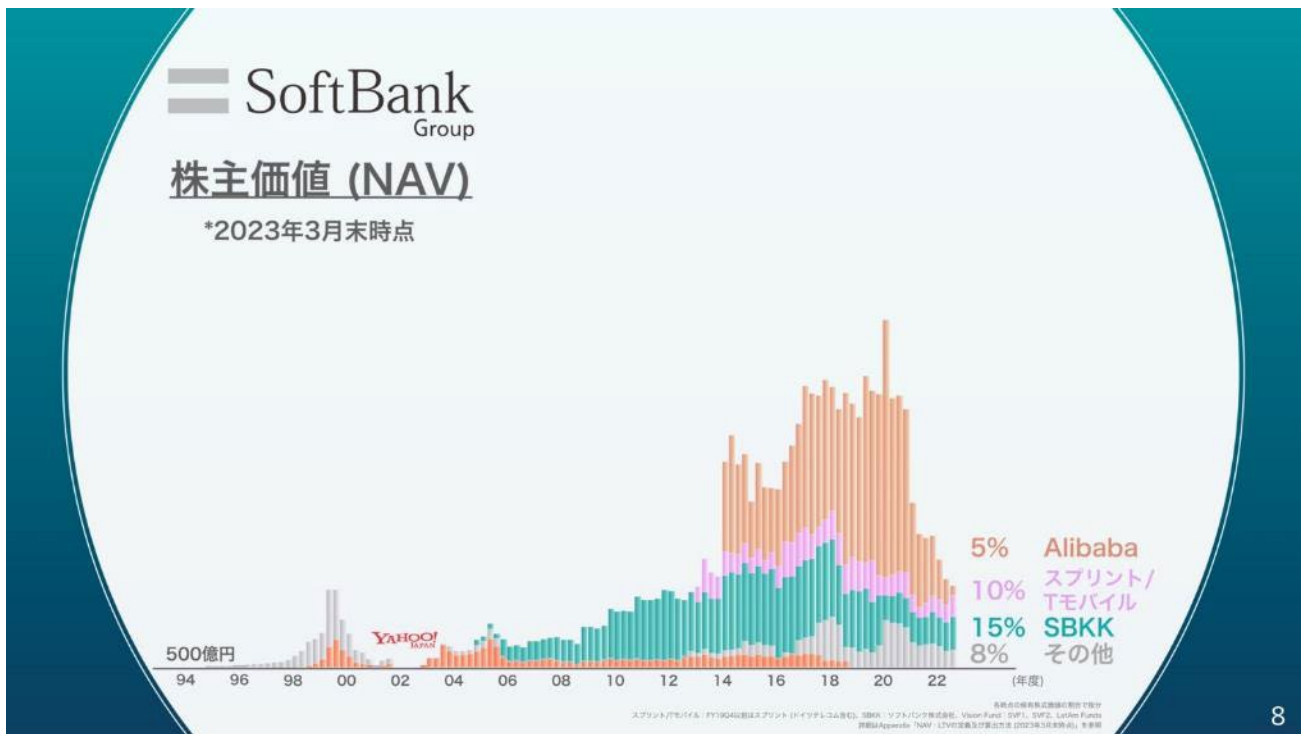
株主価値 (NAV)

*2023年3月末時点



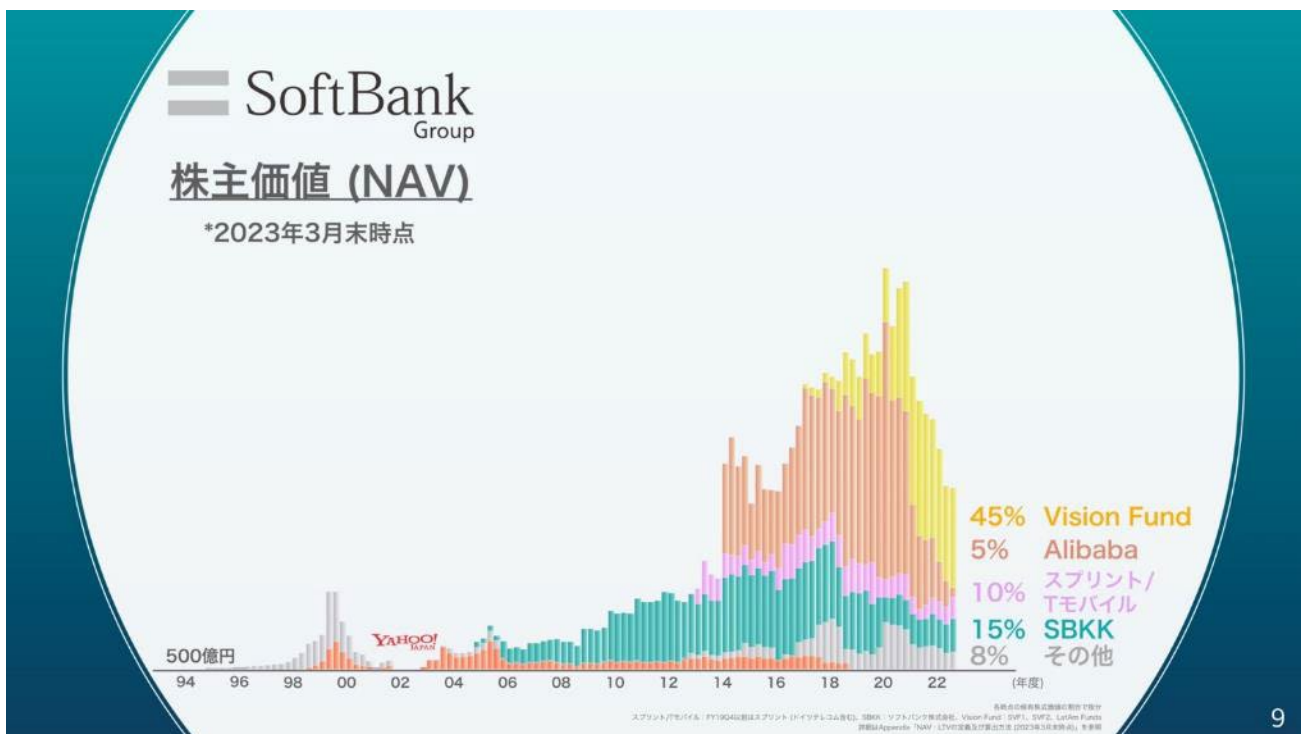
さらに、日本ではすぐに NTT さんは抜けないので、アメリカに行こうということで、スプリントを買収して、Tモバイルと合併させて、結局通信業界における時価総額で世界一*1 になったのです。

ビデオでありましたように、スプリント買収大失敗だとか、大借金だと、だいぶ言われました。でも、結果は世界一になったのです。日本で3位のソフトバンクではなくて、世界一の通信会社の大株主になったわけです。これが、進化と増殖の第3弾です。

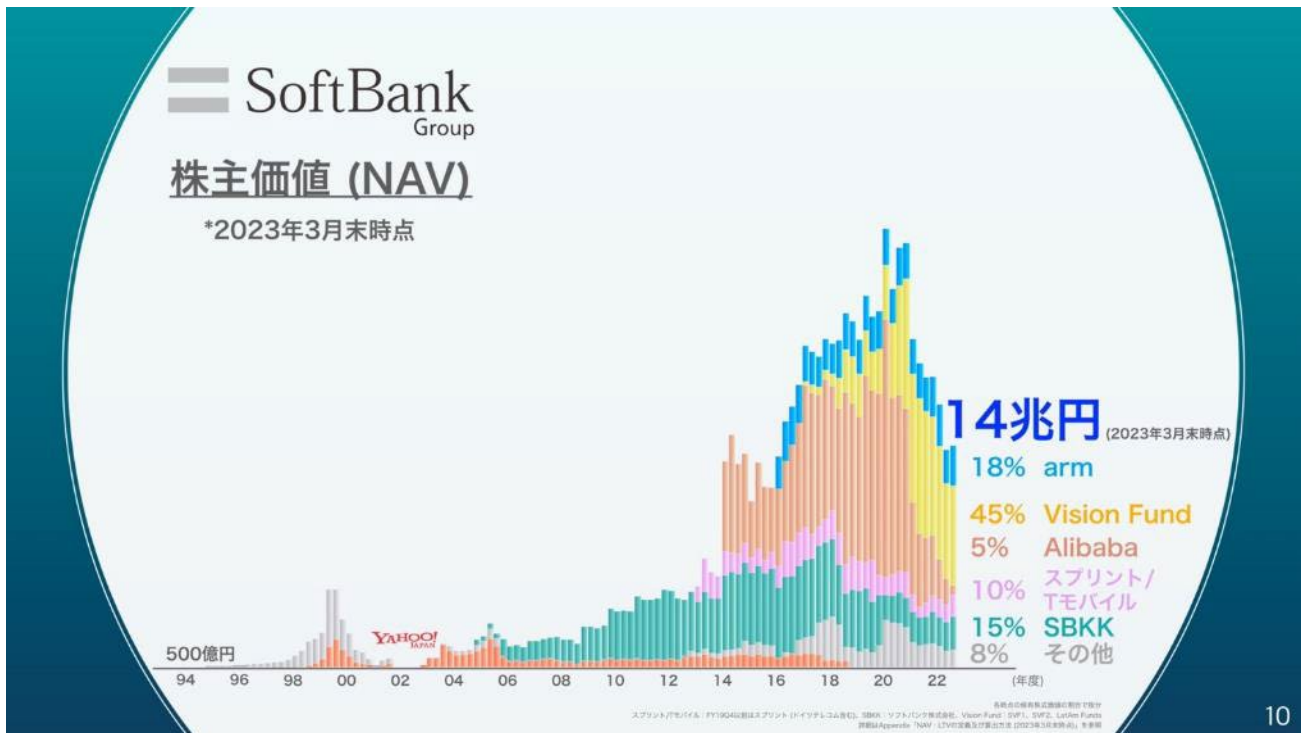


次は、中国にインターネットが広がるぞと、アリババの筆頭株主として、実質的なビジネスモデルは僕がジャック・マーに提供したと自負しているのですけれど。もちろん、ジャックが見事にそれを実行しました。素晴らしいパートナーシップだったと僕は思います。

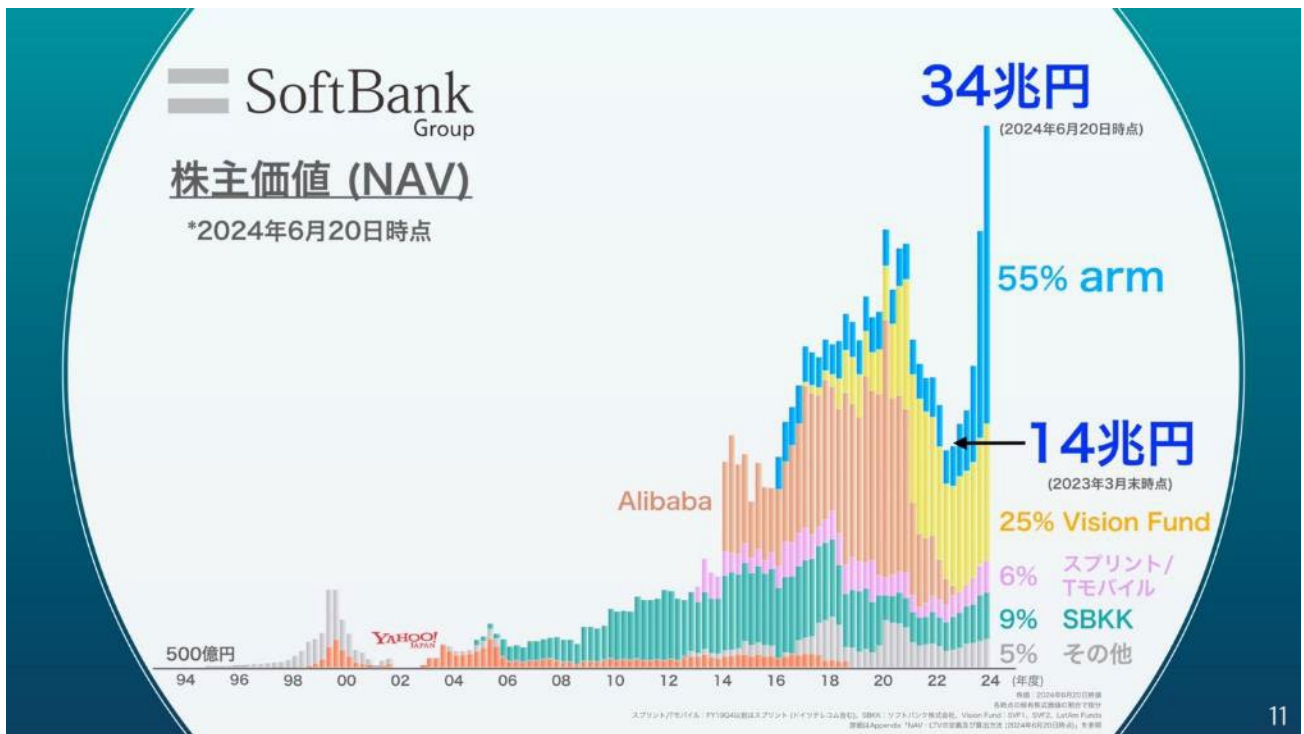
これも進化。アメリカ、日本であったインターネットを中国に持って行って、中国のインターネットの入口で進化させて、増殖させていったと。



さらに、SVF ですね。これからは AI だ、種まきだということで、WeWork とかで大けがをしたり、反省しきりでした。アームも去年の総会の際には、上場前でしたから、ほとんど買ったときの値段でしか評価されていませんでした。



去年の総会の際のSBGの株主価値は、持っている大半が上場会社ですから、毎日値洗いされていて、その価値から借入を引いたものですから、ここでいう Net Asset Value (以下「NAV」) は、持っている株の価値全体から借金を引いたものです。



ですから、SBG は借金がたくさんあるだろうとよく言われるのですが、その借金を勘案して、差し引いて、純粹に残っている SBG の価値が、去年は 14 兆円だったし、1 年経った今日はどうかというと 34 兆円なのです。



1年間で、14兆円が34兆円になったわけです。ですから、ビデオで、3,000億円の黒字なのか、赤字なのか、6兆円の売上なのか、もうわけがわからないのですが、1枚でいうと、このページなのです。

損益計算書、バランスシートをすべて忘れて、この1ページだけ見れば、答えがわかるのです。この1ページを、僕は毎朝チェックしているのです。

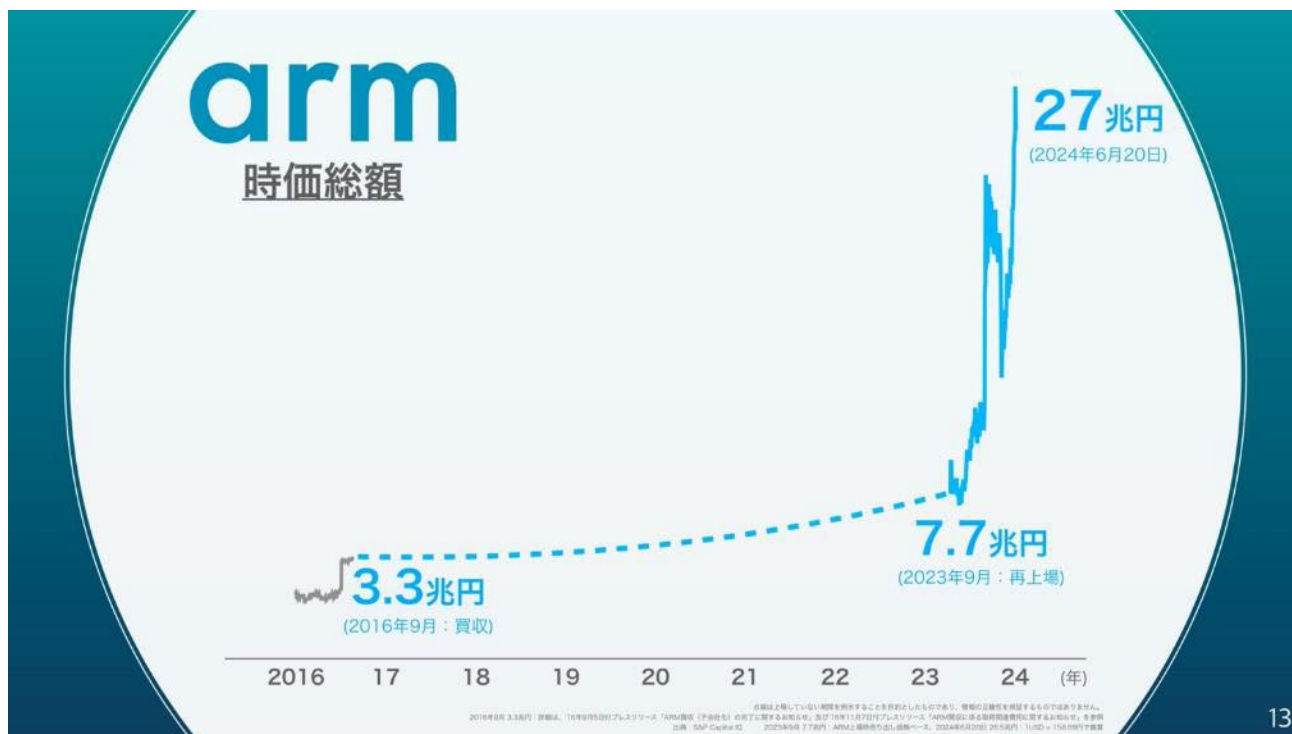
しかも、それは生成AIで自動的に処理され、計算されて、日報が朝8時に届くのです。全部、分析されているのです。だから、僕はこの1ページだけ見れば、毎日、わが社がどれだけ生きているのか、苦しいのかがわかるわけです。

ですから、皆さんも10種類ぐらいの株を持っていたら、毎日気になるでしょう。寝る前に、今日私はいくら儲かったんだ、いくら損したんだと、ずっと気になるでしょう。結構、皆さん頭を使っていると思うのです。

そのときに、いちいち、それぞれの会社の細かい財務計算書などをチェックするかというと、そうではないですよ。伸びている会社を、これは元気だと、へこんでいる会社はこれやばいぞとか、もうちょっとやばいのを調べてみようとかなるわけです。要は、自分が持っている株の価値の上がり、下がりを見ていると、これを僕も毎日チェックしているのです。

大企業の社長というのは、本来、事業部門ごとに、あるいは子会社ごとに毎日値洗いしてみるべきだと僕は思うのです。親子上場を非難する人がいますが、ちょっと考え方が小さいのではないかと、古いのではないかと思います。

ソフトバンクグループは国内だけでも数百社、海外を足すと1,000社以上あるわけです。それぞれが未上場だったら価値がわからないですよ。自分の子会社でも、上場していれば価値が毎日値洗いされるわけです。財務会計諸表は、毎日値洗いされないのです。ですから、僕はなるべくなら、何百社にもなったら、片っ端から上場して、それぞれの社長が市場から毎日チェックされているほうが、健全なのではないかと思います。



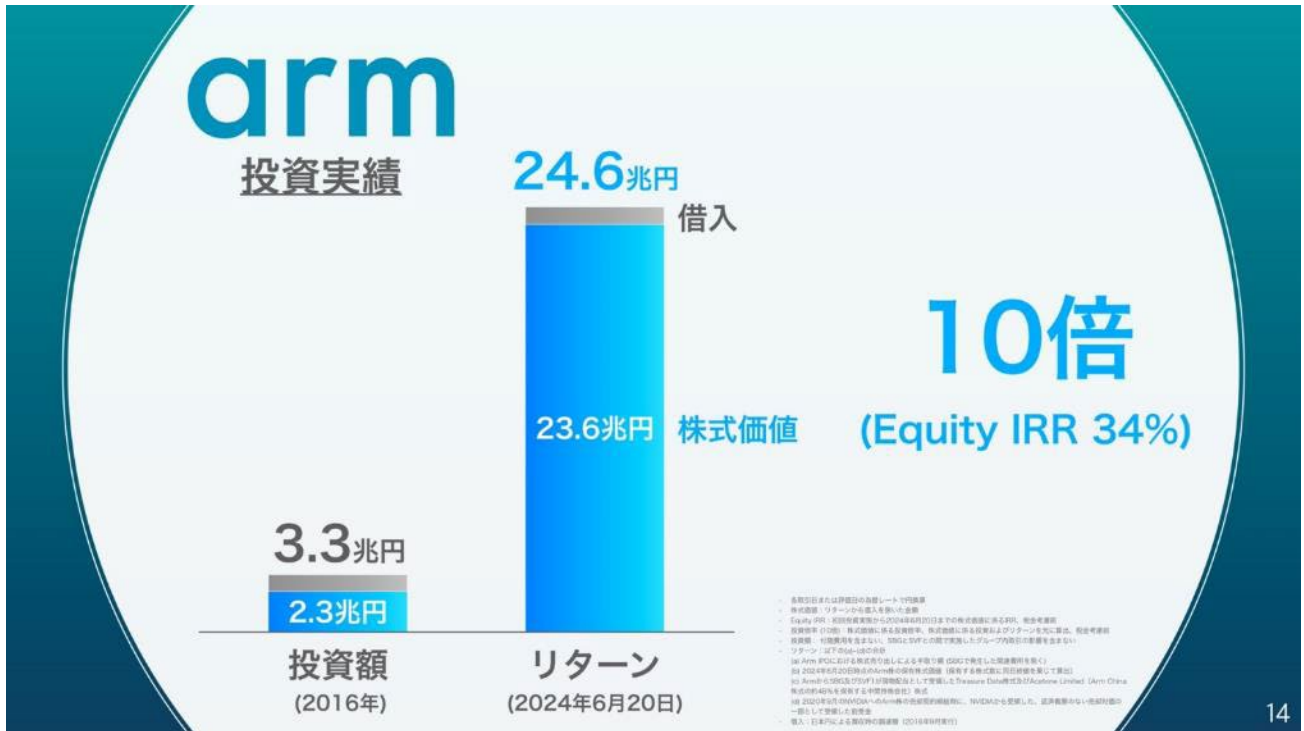
ということで、株主価値が1年間で20兆円増えた理由は何か。一言で言うと、アームです。

2年ぐらい前から、私はアーム1本に専念する、後藤君（後藤 取締役 専務執行役員 CFO 兼 CISO）、君が決算発表などをやっておいてくれ、お客さんに会うのも君やほかの者に任ず、僕はもうお客さんにも会わない、細かい計算はしない。すべて俺には持ってくるな、アームのことだけ持ってきてくれと。

今日はレネがそこにはいますが、今日も朝から、昨日の夜も、1日に大体5本から10本、レネとWhatsAppや電話、Zoomでほぼ毎日コミュニケーションをとっています。うちの会社の中で一番、僕が密にやっているのはレネです。レネがアームのCEOになってから、非常にぴったりのコンビでやれているので、非常に幸せです。

アームは、われわれが3.3兆円で買収したのです。そのとき、アームはイギリスの上場会社でした。40%プレミアムを払ったのです。2兆円のを3兆円を買ったのですが、プレミアムを払い過ぎだと、上場会社で毎日値がついているので、4割値上げして買う馬鹿がどこにいたのだと。

私は3,000億円でも買わんぞとかいって、当時社外取締役だった永守 重信さんには何年間も株主総会の公の場で言われて、10分の1でもわしは買わん、勘弁してくださいよと言っていました。お互いに笑いながらですけれどね。



でも、結果的には、3兆円で買ったものが24兆円になったわけです。

そのときに、借入をしました。みずほさんに中心になっていただいて、当時みずほの佐藤 康博さんが、「孫さん、そんなにアームが素晴らしいというなら、中途半端に買わず100%いったらどうですか」と背中を押してくれました。というのも、当時、社内の役員もほとんど反対していたのです。内部の幹部も、やり過ぎだ、高過ぎるぞと言って、金はどうしますかと。金はなんとかあるだろうと佐藤さんとかが言って、みずほにお願いしました。

異例の早さで承諾いただいて、買収して、そこからエンジニアの数をいきなり倍にしたわけですが、業績が下がりました。というのは、売上は急に伸びないですから、経費だけが倍になって、売上が横ばいだったら、当然利益は下がります。いっぱい心配されました。

でも、そのときに増やしたエンジニア、手につけた新しい材料がどんどん今、花が咲いてきて、パソコン、サーバー、クラウド、自動車、ありとあらゆるもの、それからハイエンドのIoTやAI関連の礎がばっちりできたということです。本当にやってよかった。

（投資額のうち）借入を3分の1入れている、でも借入の絶対値は増えないですね。ですから、株式、エクイティとして入れた株式は1.5倍、伸び率としては大きくなるわけですね。これが「この原理」なのですが、そういうことをわれわれは得意としています。

株主価値の最大化へ

15

ということで、前半戦ですが、株主価値を大きく増やしていくのは、結局、進化と増大。この40年間を見て、色が積み重なっていきました。あるいは、すべて進化させていったと。

今、振り返ってみたら、大したことないかもしれませんが、当時は皆冒険いっぱいのことだったのです。当時は毎回、悩んで苦しんだりもしましたが、結果を見ていただいたら、足されていったものが大半だと。

もちろん、おびただしい失敗もしています。でも、それは進化の過程の中では失敗もたくさんして、でも生き残ったからこれだけ伸びたと、700倍ぐらいになったということです。



さて、今日のキーワードは進化です。人類の進化、約 20 万年を 20 秒間で見たいと思います。

いろいろな道具を、人間、人類は発明してきました。活用してきました。人類だけが道具を使っているのです。ほかの動物は道具を使っていない、発明できない、人類だけがこの道具を次々と発明し、進化を著しくしているわけです。

自分の手と足、口、耳をはるかに延長させ、もっと遠くに飛べる、走れる、もっとたくさん聞ける、見られる、体の機能を延長させていったわけです。人類だけが、そういう道具で進化を遂げてきたわけです。



ソフトバンクの使命

17

進化と増大、これがキーワードですが、僕が特にこの1年間、興奮しているのは、ソフトバンクグループの使命が見えたからなのです。

今までソフトバンクグループ、孫正義は何をしたのだと、何をつくったのだと、2年前、僕は年老いてきて、残り人生が限られているのに、まだ何も成し得ていないということでボロ泣きしたと、去年の総会で言いました。まだ何もしていない、できていない、こんなのでいいのか、このまま年老いて死んでいいのかと、事業家の孫正義はどこに行ったと、自分に悔しかったです。

でも、親しくしてもらったスティーブ・ジョブズと彼が亡くなる前の5年間、ほぼ毎月会いました。彼は自分の使命に気づいて、それに没頭していたのだと。その思いが、お金ではないと、名誉ではないと、自分の使命感、自分の思いです。人々のライフスタイルを1発の作品で変えてみせると、彼はそれを繰り返し言っていました。

その思いに気づいたから、僕は彼に感動して泣いていたのです。2週間、号泣していました。僕は何も成し得てない、どうするのだという焦りもありました。



でも、ソフトバンクグループの使命がはっきりと見えました。今日はそのことを語りにきました。ソフトバンクグループの使命は、「人類の進化」です。

人類の進化、大きく出ましたよね。やりますよ。これ以上大きな旗印をあげるのは、なかなか難しいですよ。でも、僕は本気で思っているのです。何を大それたことと（思っていないか）？

もうちょっと具体的に申し上げますね。聞きたいですか？何をもって人類を進化させるか、申し上げます。

ASIを実現

孫正義

2023年6月11日

19

ASIを実現させることです。この使命を僕がはっきりと決意したのは、去年の6月11日です。約1年前、その日に決意したのです。でも、そのことは公には言いませんでした。

それは、本当にそれができるのか、われわれにできるのか、なぜできるのだ、ASIとはなんぞやと考えながら、この1年間、毎日この1点だけを考え続け、この1点に集中し、夜も寝ないで、朦朧としながら右脳をバーッと動かしながらやっていたのです。

この1年間で、僕のその思いが決意になりました。冒頭で申し上げたように、今日の朝、その1年間ワーッと考えていた、一番ややこしい、難題な方程式がすかっと解けたのです。だから、嬉しいのです。だから、寝ていないのに頭がすかっとしているのです。やりますよ。見といてください。僕がやると言ったときはやりますから。



ASI とはなんぞやということを、今から説明します。

その前に、ASI とはなんぞやと、知っている方は手を挙げてください。

やっぱり、さすがですね。SBG の株主総会に来るぐらいですから、5%ぐらいの方が手を挙げました。95%の方は、ASI とはなんぞや、知らないと。そうですよね、一般用語ではないですよ。

ASI、AGI という言葉を去年、何回か語りました。AGI とは、Artificial General Intelligence です。AI の親玉が、AGI だと思ってください。一部の機能をもつものが AI、ものの考え方、知恵、知識など全方位で人間を 10 倍で上回ったのが AGI です。

AGI を目指そうというのは、最近の AI の専門家、最先端の人たちの共通の目標になっています。でも、AGI を目指してどうするのだろうと僕は思うのです。AGI は、人間と同等ということです。一番賢い人間と同等、天才的な頭脳の人間の 10 倍、1 倍だったら一般的です。10 倍だったら天才ということですから、同じ人間の範疇が AGI です。

僕は、公には AGI は 10 年以内ぐらいには来るでしょうと言っていますが、本音では、謙遜して保守的に言ったのです。本音は、もっと早くきます。10 年経たずして、すべての人類の知恵は AGI に抜かれると思うのです。

ただ、それを目指してどうするのと僕が思うのは、人間と同じであれば、今まで人間がやっている生き方を変える必要はないのです。社会の道理や仕組みを革新的に変える必要はないのです。だって、1 倍から 10 倍なら大して変わらないではないですか。

だけど、ASIになると話が違くと。ASIというのは、先ほど（スライドの脳が）ダーッと動いたでしょう。あれは、AGIが動いていると思ってください。AGIがあちこちにできて、脳の神経細胞のようにつながって、それが人間の知能の1万倍ぐらい賢い。1万人分ではないですよ。1万倍賢い、どの天才よりも1万倍賢いぐらいの知的レベルがASIなのです。

Artificial Super Intelligence、これがASIです。ASIを目指そうと本気で言っている人は、まだあまりいないと思うのです。そのASIがいつ頃来るのか、どういうかたちでくるのか、ASIは何倍ぐらいだという定義すらほとんどないのです。

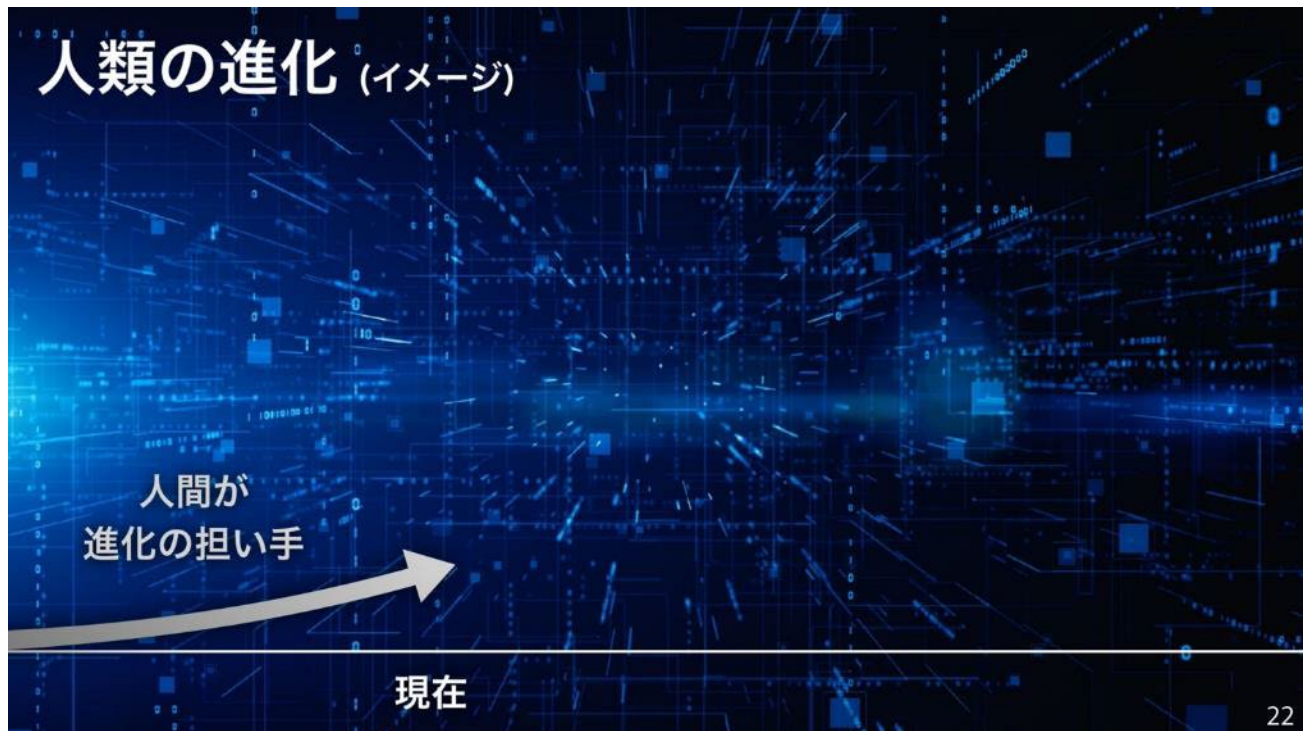
何倍がASIかと。ASIという言葉を使っている人はいますが、何倍と明言しているのは僕だけだと思います。僕が勝手に、ASIイコール1万倍と決めたわけですから、そのASIが人間の叡智の何倍かはWikipediaにも載ってないのです。

とにかく、僕は1万倍ぐらい賢いのがASIだと、100倍でもいいですよ。100倍でも天才が100倍敵わないのです。100倍でも1万倍でも、敵わないことにおいては同じです。ただ、僕のイメージは、1万倍ぐらいだと思います。

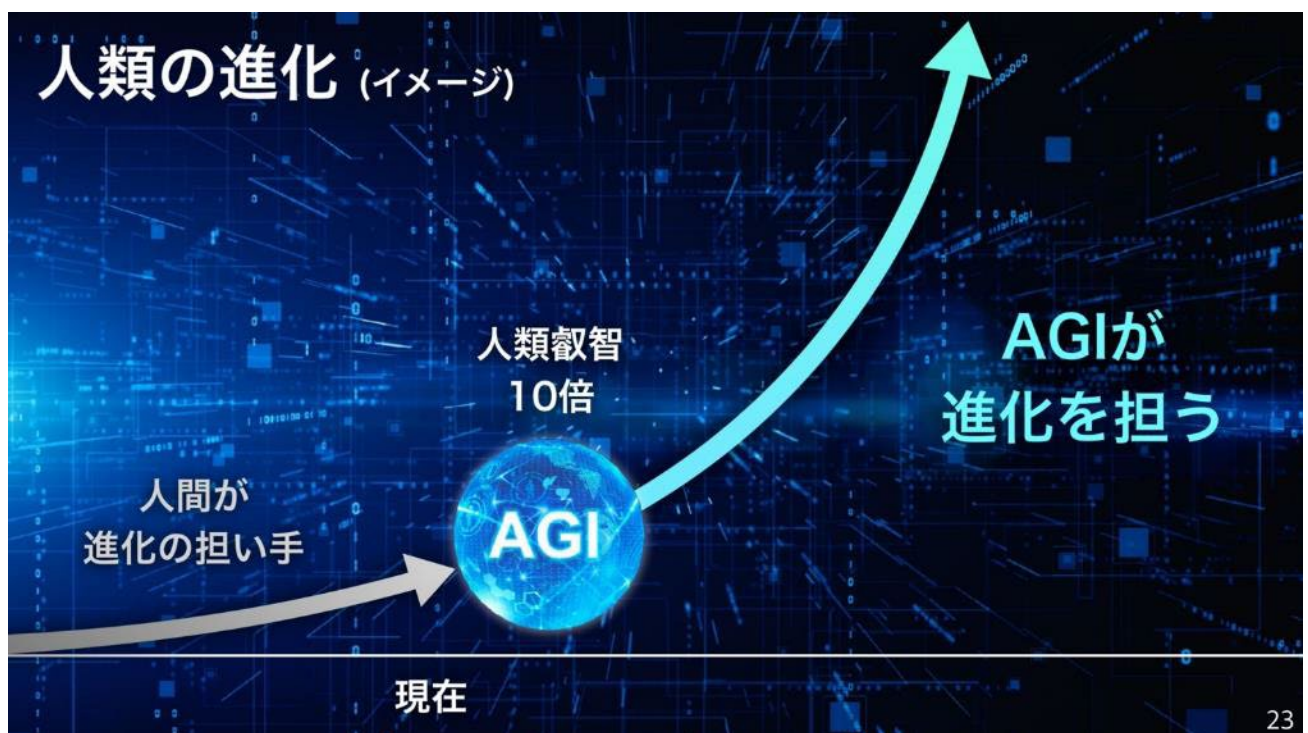


ソフトバンクグループは、孫正義は何のために生まれたのだと。言ったらおかしいかもしれませんが、僕はこのために生まれたのだと。孫正義が生まれた理由は、ASIを実現させるためなのだ、本気で今、そう思っているのです。

この1年間、本当かよ、やれるのかという複雑な方程式を解いていて、今日の朝やれると、一番難しかったところが解けたので、私はもう自信あるぞということです。なぜだというのは、あまり聞かないでください。



人類の進化の歴史 20 万年を、20 秒間のビデオで見させていただきました。人類の進化の担い手は、人類だったのです。人間が道具をつくっていったのです。



もうじき、AGIがやってきます。僕は3年から5年以内にAGIがくると考えています。そこから先は、AGIが進化を担うと。



つまり、人間の天才が今まで20万年間進化を担ってきた、さまざまな天才が天才を刺激し合っ
て、進化が生まれたと。



でも、AGI ができた後は AGI が AGI を刺激して、進化をつくっていくと。というのも、AGI は人間より賢いわけですから、AGI が AGI を刺激して、進化をどんどん加速させていく、止まらなく加速させていくと。



そして、ASI がやって来るのですが、なんと僕は 10 年前後ぐらいに来るのではないかと、心底思っているのです。1 万倍の叡智ですよ。20 万年の人類の歴史の中で、この 10 年間について ASI が生まれてしまう。その接点のところに今、われわれがいるということなのです。

皆さん、ポーッと考えていては駄目ですよ。明日何食おうとか、それでは駄目ですよ。この 10 年間は、人類 20 万年の歴史の中の接点なのです。初めて人類が圧倒的に抜かれる、1 万倍抜かれるということなのです。そうすると、すべての常識が変わるのです。



ASIはもう動かない、物をつくらないだろうと言うのですが、違うのです。

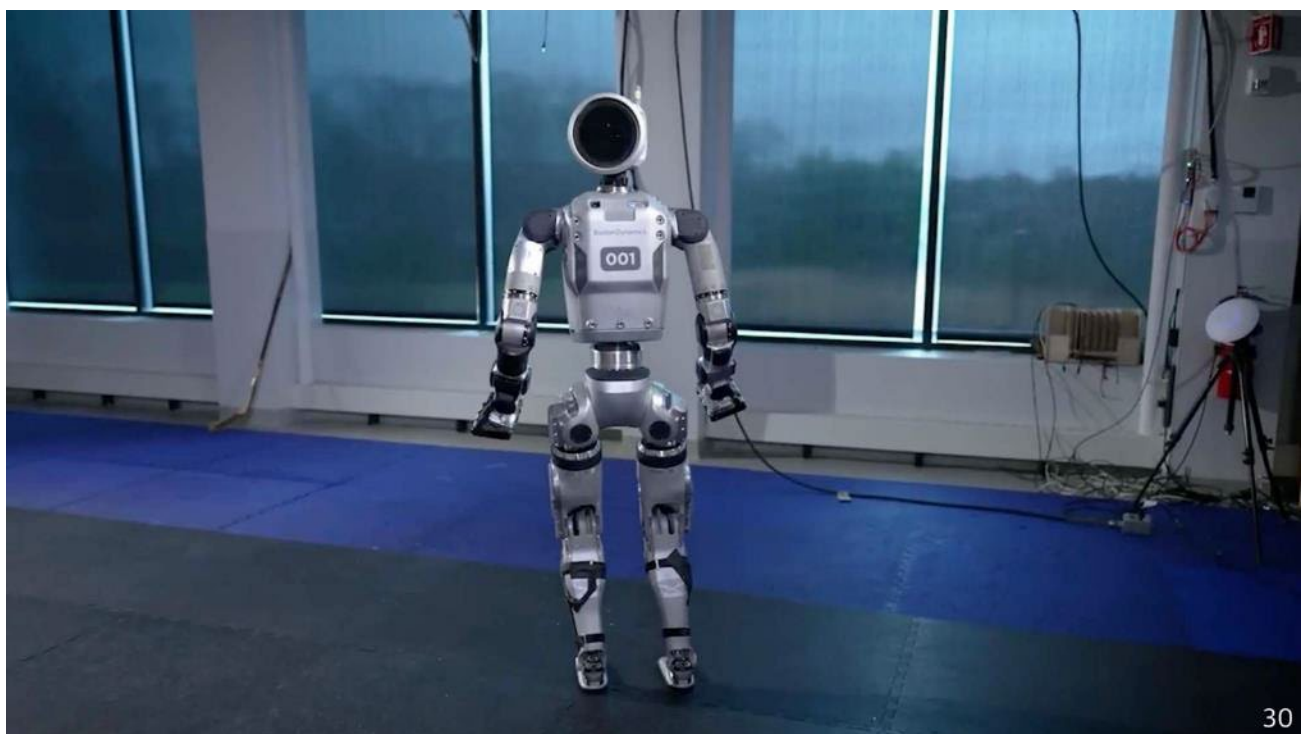
スマートロボットが今、強烈な勢いで、従来型のファクトリーオートメーションのロボットではないですよ。あれは頭脳が付いていないロボットですから、携帯で言えばガラケーみたいなものです。頭脳が付いたものがスマホ、頭脳がついたロボットがスマートロボットです。

このスマートロボットが、ASIにつながる。そうすると、スマートロボットは工場で物を生産したり、道を掃除したり、お買い物に行ったり、掃除、洗濯、建設、ありとあらゆる物理的なことまでこなすようになるのです。



ソフトバンクグループは、もう 10 年前から Pepper とかかって、ロボットをいろいろやっているのです。実は脈々と、われわれの組織の中に浸透してきて、例えば Boston Dynamics、株を 8 割売っちゃいましたが、2 割持っています。

Boston Dynamics とも非常に近しくやっていますし、それ以外も続々と今、ロボットカンパニーを SVF の傘下に入れていきます。

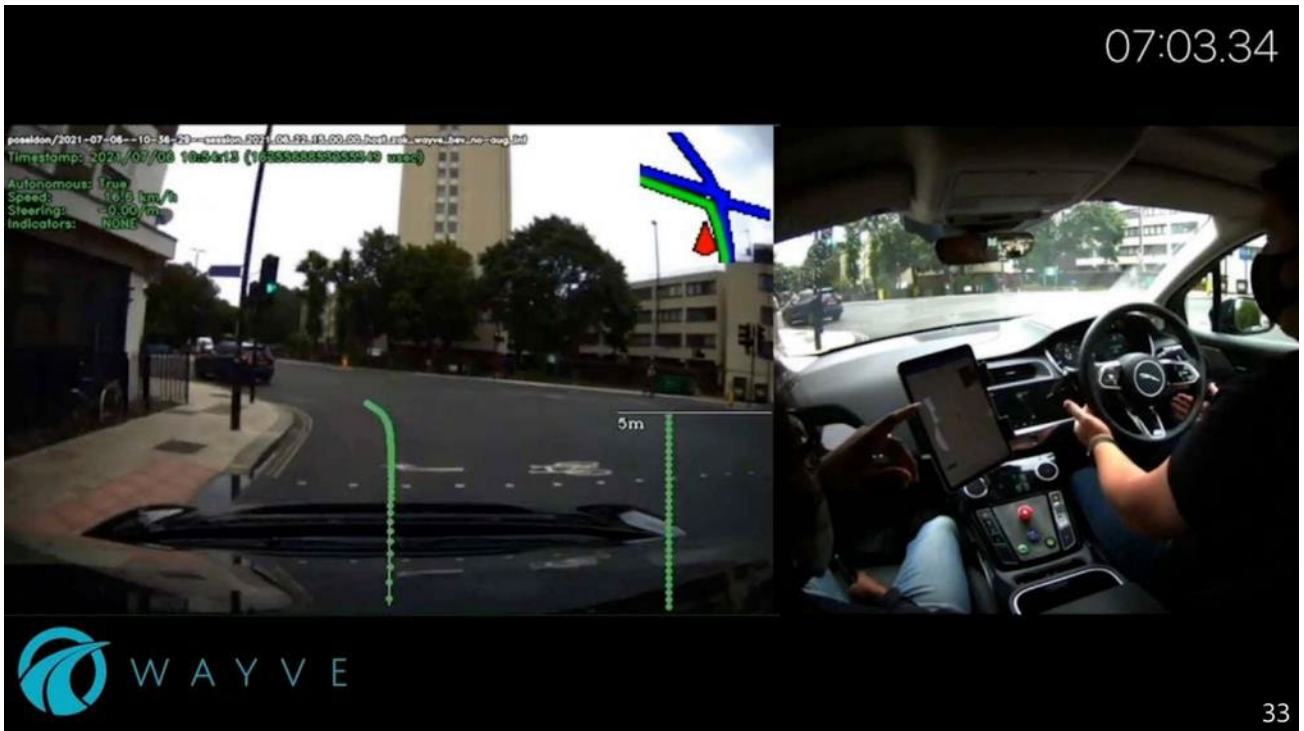


全部言うと時間がないので、ボストン・ダイナミクスの動画を見ていただきたいと思います。最新のロボットです。見てください、足の角度、逆側から起きたりして、首も体も一瞬で回って。

こういうものはまだロボット、ヒューマノイドの入口ですが、これが今から10年間でどんどん、さまざまに出てきて、ASIにつながると思ってください。もう圧倒的、大量のものの生産や加工、ロジスティクスなど、そういうものはどんどんロボットに置き換わっていくでしょう。



ロボット運転もわれわれのグループが入れたものですが、動画を見ていただきたいと思います。



これは、今までの自動運転と違って、LiDAR（Light Detection and Ranging）や高解像度のカメラ、計測器を中心とした自動運転ではないのです。カメラは安いカメラが中心です。

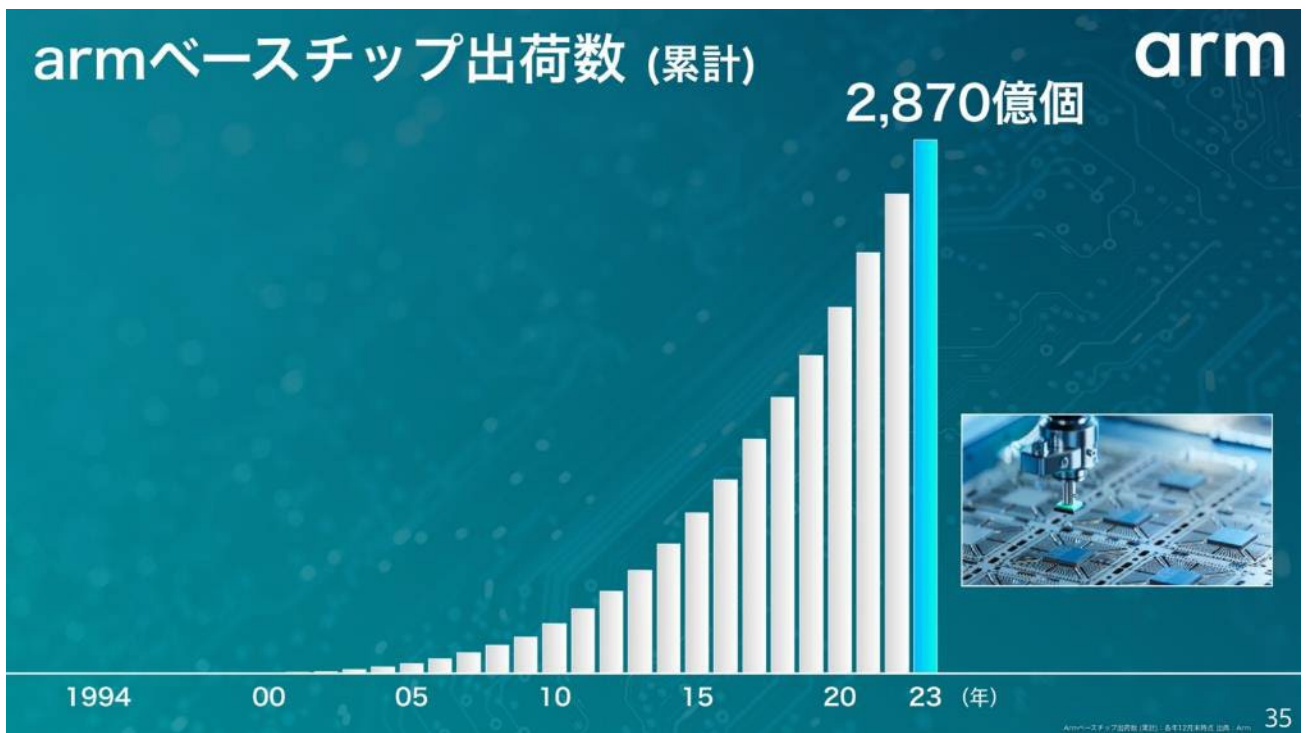
あとは自動運転 2.0 ということで、すべて AI がその場で判断し、詳しい高解像度のマップを先に計測し、一所懸命つくって、そのマップの中を計測しながらやるという従来型の自動運転とは違うのです。

一番最先端の生成 AI だけを使って、学習するのです。運転の技能を学習し、ロンドンでトレーニングしたら、一度も行ったことのない田舎のほうに。人間だったらレンタカーを借りて、初めてのところにも行きますね。同じように、運転技能を生成 AI で学ばせたら、初めて行く町でもスイスイと運転できるのが、自動運転 2.0 です。

われわれは、その Wayve の筆頭株主です。生成 AI に一番直結したロボットの進化系の一つで、こういうのを、ほかにもたくさんやっています。



中心にあるのは、もちろんアームです。クラウドもデータセンター側も、エッジ側もアームです。エッジは携帯の端末や自動車、それこそロボットなど、両側、ありとあらゆるところにこの生成AIの機能をアームが入れていくと。



アームのチップの出荷数はダントツ世界最大です。このグラフを見ていただいたらわかるように、綺麗な2次曲線で伸び続けています。

ありとあらゆるところに伸び続ける。株価は上がったリ、下がったリしますが、アームチップの出荷数は上がったリ、下がったリはないのです。上がり続けている。しかも、それがありとあらゆる AI のシーンに、今から ASI の世界に広がっていくということです。



なぜ、アームが強いのかというと、その設計力なのです。イギリスのケンブリッジを中心とした天才的な設計士集団、アーキテクトがいるのです。

この設計士集団が、圧倒的な設計能力で、演算処理を、しかも電気を一番少なく使うことでやっていくのですが、その組み合わせがこれからの ASI の世界です。データセンター側でも、エッジ側でも電気を最小限にするところが、実はものすごく重要なところで、アームの強みです。



したがって、ありとあらゆるところにアームの生成 AI 用チップが ASI への進化をもたらしていく。もちろん、アーム 1 社ではできません。



NVIDIA も、NVIDIA のジェンスン・フアンは僕のお友だちですが、2、3 日前に Microsoft を抜いて世界一の時価総額になったのですね。ジェンスン、おめでとうと言っておきたいと思います。

われわれのアームは、NVIDIA とも取引しています。NVIDIA の CPU Grace は、アームのライセンスでつくられているわけです。

Microsoft にも Google にも、Amazon にも Oracle にも、ありとあらゆるところでアームの技術がライセンスされ、彼らが使っていると。

携帯、スマホについては、99%のマーケットシェアと公式には言っているのですが、実質は 100% だと思います。世界のそれだけのものが、アームのライセンスによって成り立っているということです。



ASI の世界には、AI チップが欠かせません。もちろん、アーム単独では無理です。NVIDIA や AMD、アームや Intel、いろいろなところと提携しながらやります。

AI データセンター、日本でもシャープさんの工場跡を使って、SBKK でやることを発表しました。AI データセンターを続々と、われわれがグループ総力を挙げて世界中につくっていくべきだと思っています。

そして、AI ロボット、これは先ほど言った通りです。グループの総力を挙げて推進します。われわれ単独では無理ですし、莫大なお金もかかりますから、パートナーと資金を出し合ってやりますし、技術においてもパートナーと提携しながらやっていくかたちになります。

単独でやらなくてもいいではないですか。志を共有している仲間たちと一緒に、ゴールが達成できたらいいと思っています。



最後です。ASI、僕が言いたかったのはこの1枚ですよ。ソフトバンクグループの使命、僕の決意、ソフトバンクグループが生まれた理由。

今までグループでいっぱいやっています。これからも続けますが、あれは全部このための準備運動だったと、正直に言うと僕は思うぐらいです。

ですから、この壮大な使命と壮大な夢、強い思いに比べたら、今日株価が上がったの、下がったの、自社株買いする、配当をどうするのだとか、小さいではないですか。今日、株主総会で聞きたいですか。もう誤差ですよ。去年1年間儲かったのかとか、20兆円儲かった、誤差ですよ、その程度の話はどうでもいいではないですか。それは、たかが銭金ですよ。株主の皆さん、二つの理由で今日来たと申しあげましたね。SBGの株値が上がるのかと、心配ですよ。忘れましょう。そんなのどうでもいいではないですか。

孫正義が夢見とるなら、応援しよう。でも、何のためにそれをやるのかということですね。人間の知恵が1万倍分抜かれたら、私はどうすりゃいいのだと、皆さん思うでしょう。仕事ってなんだ、労働ってなんだ、幸せってなんだ、そんな機械ができちゃっていいのかと、人間ってなんだと、そもそもの根源に関わる疑問が沸々と湧いてくると思いませんか。

問い質すべきなのです。ギリシャの哲学者たちが毎日のように問い質していました。ギリシャ哲学が生まれましたね。僕はものを考えること、根本問題を考えることは、大事だと思うのです。何のために1万倍の知性を生みたいのかと。

去年、僕はがんで親父を亡くしたのです。大泣きしました。毎日、泣きました。絶望に暮れました。あの絶望に暮れる思いを、1万倍の知性があったら解決できたのではないかと思うのです。1倍の知性では無理ですよ。だから、AGIでは駄目なのです。それは、ただ置き換えるだけですから、解決していることにならないのです。

もう、がんで亡くならないようにしたい。お袋も脳梗塞になってしまって、本当に悲しいのです。脳梗塞、がん、交通事故だと、事故を1万倍減らす自動運転ができるなら、初めて役に立つ自動運転ですよ。人間の運転手を減らしたいというのでは、志が低くないですか。事故を1万分の1に減らす、それだったら、自動運転をやってくれよとなりませんか。

隕石が地球に飛んでこようとしていて、人間の叡智では滅亡するぞというときに、1万倍を超える叡智があれば、解決できるかもしれません。次の氷河期を避けることができるかもしれない。大きな地震や災害、伝染病、コロナみたいなパンデミック、人類は20万年、いろいろな圧倒的な苦しみを耐えてきた歴史ですよ。もし、人間の叡智を1万倍ぐらい超えるものができたら、そういう絶望から救ってもらえるかもしれません。

幸せってなんだ、役務、労働ってなんだ、わざわざ汗水たらして、本当に汗と水を垂らすことが願望だったのか。それは家族をまかなう、生活をまかなわなくてはいけないとか、そういうことで汗水垂らしたいというのが、本当は理由だったのではないですか。

汗水を垂らして、水を汲みに行かなくなつて、水道がある。昔は丸一日かけて水を汲みに行っていたわけです。その水を汲みに行くことが楽しいから、それをやっていたのか。いや、水が必要だからやっていたのか。

必要なものについては、ASIとロボットが大半を解決してくれて、人間は泣きながら生まれてきて、泣きながら死んでいく、その間は幸せでいられたら、もっといいではないですか。僕はそう思うのですよね。



情報革命は人々を幸せにするためにやるのだと、これがソフトバンクグループ創業以来、変わらない理念なのです。ソフトバンクグループは、本業をコロコロ変えてとよく言われますが、本業を変えたつもりは一度もないのです。

情報革命で人々を幸せにというのが本業で、手段は進化させていったのです。手段は進化させていくべきなのです。新しいテクノロジーが生まれるわけですからね。ソフトバンクグループはコロコロ本業を変えたというのは、進化したくない人がいう批判です。そういう人たちが思う物差しで見た見方だと僕は思います。

ソフトバンクグループは、情報革命で人々を幸せにするのが唯一最大の本業で、それを ASI を実現しながら、人類のこれからの圧倒的な進化を遂げることに貢献したいと、唯一の使命は、ASI の実現です。

ありがとうございました。

質疑応答

孫：ただ今から、質疑応答に移らせていただきます。進め方については、司会から説明させていただきます。

司会：ご説明申し上げます。まず、事前にいただいた質問に回答させていただいた後、会場の株主さまから口頭でご発言をお受けいたします。

会場からのご発言につきましては、受付でお配りした、赤、青、白、緑のいずれかの紙を議長に見えるようにお挙げください。係の者がマイクをお渡ししますので、指名された株主さまは一人ずつご発言をお願いします。ご質問は一人さま1問までとさせていただきます。なお、会場でご発言される株主さまは、はじめにお手元の入場表に記載された番号のみをお知らせください。お名前は不要です。

その後、インターネット出席の株主さまから、本日いただいた質問のうち、目的事項に関するものに回答させていただきます。なお、インターネット出席の株主さまからのご質問は、お一人につき1問ずつとさせていただきます。インターネット出席の株主さまの入力締切は、今から5分後とさせていただきます。

孫：それでは、事前にインターネットで質問いただいたところから、まず5問回答させていただきますと思います。

質問1：AI群戦略の要であるSVF出資企業同士のシナジーについて、具体的な事例をお聞かせください。また、今後、どのようなシナジーが見られるとお考えですか。

孫：われわれはウーバーの筆頭株主でした。その後、大変成長して、大成功しています。

つい2、3週間ぐらい前でしたかね、ウーバーのトップと幹部10人ぐらいが私に会いに来て、食事をしながら語りました。SVFが筆頭株主だったことでできた縁で、来日したので来てくれたのです。SVFで持っている会社、5、6社とこういう提携ができるね、ああいう提携ができるねと話して、非常に盛り上がりました。

ほかにも、SVFで投資したロボットの会社などが、これからASIにいっぱいつながっていきます。SVFは、進化の種を植えることに役立ち始めていますし、これからASIが実現される中では、それぞれの分野のナンバーワンですから、大いにシナジーが出てくると思います。

質問 2：アームの CEO、レネ・ハース取締役が SBG 経営陣にいることは強みであると考えますが、同氏の SBG の経営への関わり方をお聞かせください。

孫：SBG の NAV、持っている株の価値の半分以上ぐらいが今、アームですから、そういう意味では本当の中核企業になってきているわけです。

せっかく今日来ていますから、レネから直接コメントをいただきましょう。

レネ*：ご質問ありがとうございます。まず、先ほど孫社長からお話がありましたように、私は、1 日に何度も社長とやり取りをしており、今朝も何度もお話ししました。

なぜならばアームは、コンピューティングに関わるすべての中心にいるからです。ソフトバンクグループの AGI や ASI に関わるビジョンを見ていただければ、アームの技術とソフトバンクグループの戦略が交わることを自然と理解いただけると思います。

先ほどご覧いただいたビデオのロボティクスや自動運転などにもアームがすべて関わっていますので、私と孫社長が、将来のテクノロジーについてたくさん議論するのは自然だと考えています。

質問 3：大株主より自社株買いを提案されていると報道が出ているが、自社株買いよりも増配を優先してほしい。お考えをお聞かせください。

孫：先ほど言いましたように、小さいではないですか。やるときはやりますよ。今までもやるときは 5,000 億円、1 兆円とやってきていますから、いつやるとか、いくらやるとか、どうやるかについては、こちらにお任せいただきたい。ただ、いつでもやる用意はあるし、いつでもやらないかもしれないということです。

質問 4：社内取締役を増やすつもりはあるのか。特に女性の取締役を起用しないのはなぜか。

孫：起用するつもりは大いにあります。ぜひ、素晴らしい女性経営者がどんどん増えることを願っています。社内からというコメントですが、もちろん社内からも大いに期待していますし、社外では襟川さんが 1 人で 3 人分ぐらい、大体人の 3 倍ぐらいしゃべりますからね。十分果たしているのではないかと思います。

質問 5：株価が高く、個人投資家にとって買いづらくなっているのに、株式分割をしていただけないか。

孫：これも小さいではないですか。やるときはやるし、やらないときはやらないということで、お任せください。

それでは、会場から質疑応答を受けたいと思います。

質問 6：アームに投資するときに永守さんにけちょんけちょんに言われていたのを私も覚えています。アームに投資したのはすごく良かったなと思います。

孫さんのすごいところは、多分、5年から6年ぐらい前に NVIDIA に、当時 5,000 億円ぐらいの規模で投資して、1 回利確してということがあって、その後、今度は NVIDIA とアームを合併させようと考えて、それが最終的に果実になったかどうかというのはあると思うのです。最終的には、ちょっと難しいところがあったと思うのですが、実際には、そこに着眼していたことが、すごく、今時価総額 1 位になった NVIDIA に対して、数年も前から着眼していたところ、今思うと本当にすごいなと思っています。SVF は AI に特化していくと前に話されていました。AI で今一番成長しているのが OpenAI の ChatGPT だと思います。これに、初期に投資しているのは Microsoft だったと思います。

1 年ぐらい前に、OpenAI に投資していきたいという情報がちょこっと出た感じがしました。数年前に OpenAI に投資できなかったのか、着目していなかったのか。孫さんであれば着目していたのではないかなと思うので、その辺りをお聞かせください。

孫：わかりました。NVIDIA の件と OpenAI の件だと思います。これは、言っているのかわかりませんが、言いましょう。

アームを買収した翌月に、NVIDIA のジェンスンと 2 人で、僕のカリフォルニアの自宅で 4 時間、庭でテーブルを置いて食事したのです。テーマは一つ。僕はアームを買った、次は NVIDIA を買いたい。ジェンスンが 2.5% 持っていたのです。君は 1 円も出さなくていい、2.5% を 10% に増やしてやる。残りの必要な金は全額私が出す、非上場にしよう、買収しよう、経営者は君のままでいい、どうだと。ジェンスンは、うーんと言って、4 時間話したのです。僕は一所懸命その 1 点だけを交渉して、アームと NVIDIA を合併させて、来るべき AI のところをやろうと。力を合わせることや、AI についての思いはまったく一緒、同感だったのです。

ただ、非上場にして合併させるのはなとか、俺は金のために仕事しているのではないからとか、ジェンスンは一所懸命言っていて。お前の手下になるのもな、とかね。いやいや、俺の手下ではない、同士だと。お前が社長のままでいいではないか、俺は株主としてやるからといろいろ言っていたのです。非常に仲良く、和気あいあいと話をして、もしそのときにそれが起きていたら、SBG は世界一の時価総額になっていたということですね。逃した魚は大きかった。

その後には、5% 買ったり、SVF の投資先の一つでしたから、内部からはそろそろ利確しましょうとかいろいろ言われて、こっちもついつい 5% ぐらいなら持っていて戦略的ではないからいいかと、2 倍か 4 倍になったところで利確して、売ったのです。

その後に、今度はコロナがきて、今度は SBG が生きていかななくてはいけないから、片っ端から売れるものは売ったと。アームだけは絶対売りたいと言ったのですが、アームを売るのではなく、NVIDIA の筆頭株主になるかたちの合併ならいいかと、妥協点を打とうとしたのです。

もし合併していたら、われわれが 10% ぐらいの株主になっていましたから。ということは今、45 兆円分持っていたということですね。合併でも、悪くはなかったのですよ。SBG が世界一になった時価総額の NVIDIA、Microsoft、Apple を抜いたわけですね。そこの筆頭株主で約 50 兆円持っているなら、今アームが 27 兆円。倍になる。お金だけでいえば、そっちのほうがよかったかもしれないですね。

けれども、もし神様がもう一度僕にチャンスを与えてくれて、アームか NVIDIA、1 社しか買えないと言ったら、今日現在も僕は 1 秒も迷わずアームを買います。1 秒も迷わず。これだけは今のうちに言っておきます。後で言うと、ラッキーだったねと。

今、世界一の NVIDIA を見て、神様がもう一度チャンスを与えて、1 社だけ選べるといったら 1 秒も迷わず。アームを買う、自信を持ってそう決めると心底思っています。両方ほしかったのですよ。真剣に両方ほしいと言ったのですから。別にアームの株を買えとか、買い煽っているのではないですよ。そのくらい、僕はアームの将来を信じているということです。

そして OpenAI は、Microsoft が 1 年ぐらい前に 1 兆数千億円を入れましたよね。実はその前に、サム・アルトマンと僕が 1 対 1 で話をしたときに、SBG が 1 兆円を入れる話をしていたのです。僕はもう決意していたのです。サムもほぼその気になっていたのです。サムはその後、仲間とも話をしなくてはいけないし、彼も迷ってはいたのです。そのくらいぎりぎりまで話し合っ、僕は心を決めていたのですけれどもね。

結果的に、サムは Microsoft のほうの 1 兆円を受け取ることを決めたのです。正しい判断だったと思います。Microsoft は世界一の会社ですから、販売網も持っているし、技術力も資金力も持っていますから、サムにとっては結果的に正しい判断だったと思いますが、正直に言うと少なくとも僕はその気でした。

逃した魚は、ほかにもいっぱいあるのです。でも、逃した魚を語っても仕方ないではないですか。それよりも、僕は今からのわれわれの使命、ASI を実現させる、単独では無理ですが、複数のパートナーとともに目指すことに今、集中しています。

質問 7 : 2022 年 10 月ぐらいから孫さんが出願している特許が、最近になって公開され始めてきて、今大体 150 件ぐらい公開されています。内容を見ると、自動運転とファクトリーロボットに

関するものがメインだと思います。その二つについて、今後、ソフトバンクグループとして事業に活用していくのか。どのように考えているかを教えてください。

孫：先ほどもプレゼンで言いましたように、ASIの世界が来たら、ありとあらゆる姿のロボットがASIの手足として動くようになる。そういう意味では、遅かれ早かれ、いろいろなかたちで活用していくことになると思います。

ちなみに、おととしの10月ぐらいから去年の暮れまでの約1年間で1,008本、僕自身が特許を出願しました。1日平均3本ですね。そのくらい、右脳をワッと開花させていったのです。俺は1年間で、1,000本いくぞと1日目に決めたのです。1,000本いくぞと決めて、そこから逆算してどんどん発明して、特許を出願したのです。

今はやりたいこと、やるべき使命がはっきり見えましたから、先ほど言ったように、1年前にASIの実現だと決めましたから、枝葉の特許のところは頭を切り替えて、ASIの実現1本に今、集中して考えています。ですので、新たな特許出願は今、ほとんどしていません。ほんのちょっとやっていますが、今は、ASI中心のこと、この1点だけに集中して、頭をぐっと掘り下げている状況です。

質問8：本日、孫正義様にお会いできましたこと、大変光栄に思っておりました。本当に涙があふれてきました。孫正義様が生涯、師と仰いでいらっしゃる方はおいでになりますか。

孫：何人も尊敬している人はいるのですが、僕がまだ19歳の学生のときから可愛がってくださった、シャープの佐々木正元副社長、この方は本当に恩人として、心から尊敬しています。また、マクドナルドの藤田田さん、僕が16歳のときに会いました。尊敬しています。

スティーブ・ジョブズ、彼には泣くほど感激したということで、尊敬していますし、OpenAIのサムも僕より随分若いですが、心から尊敬しています。イーロン・マスクもすごいですよね。ちょっとハチャメチャなところはありますが、あの革新性はすごいと思います。DeepMindのデミス・ハサビス、彼も技術的に天才ですね。

というように、1人に絞るわけにはいかないのですが、ビル・ゲイツもすごく尊敬していますよ。そういうことで、たくさんいます。ぜひぜひ精進したいと思います。

質問9：先ほど、説明のビデオで、データセンターを北海道にもうける案内がされていました。今後、日本にはAmazonやOracleなど、大規模なデータセンターがどんどん増えてくると、それに伴って電力の消費は増えていくであろうと。電力消費の増大によって、例えば温暖化なども関係してくると思います。AIの発達によって電力消費が増えて、それが温暖化につながったら、人々の

幸せにつながらないのではないかと。電力消費の仕方、電力確保の仕方のお考えをお聞きかせください。

孫：電力は根本問題ですよね。これから最大のボトルネックの一つになるのが、電力だと思います。また、地球の温暖化にも非常に大きな影響を与えますから、まったく同感です。いろいろな技術革新が今、起きています。核融合や自然エネルギーなど、いろいろなものが起きています。それはそれで非常に期待していますし、貢献したいと思います。

ですが、まず今の技術の中で電力を一番効率良く、一番少なく使おうと思ったら、アームなのです。NVIDIA の Grace もアームの CPU を使って、同じ計算をするには電力消費が圧倒的に少なくできるようになりました。また、Microsoft も Google も Amazon も皆、Intel や AMD からアームに切り替えることによって、消費電力が半分ぐらいになるのです。

アームにするだけで少なくとも現在の消費ペースよりも伸びが半分ぐらいになりますから、その面では貢献したいと思います。エネルギーにも直接、われわれがなんらかのかたちで貢献できるというなと思っています。

質問 10：孫さんは ASI に志やビジョンはある、もしくは持てると思いますか。ソフトバンクグループが大きくなった理由や、世の中を良くするためというのは、夢や志、そういう思いがあって初めて世の中は良くなると思います。AGI、さらにいうと ASI には本当にそれがあるのか、持てるのか。孫さんの口から聞いてみたいです。

孫：持てると思います。コンピュータには感情が理解できない、感情がない、意識がない、人間だから理解できる、それは今までの人間の思い込みだと思うのです。人間がまだ上から目線で見ているからそう思うだけで、結局、感情は知的活動の一部だと思うのです。犬にも感情があるではないですか。犬や猫にも感情がある。あれは、脳細胞、ニューロンが結びついたり、離れたりしながら、ものを考えたり、中には感情まで持つようになるわけです。

そのニューロンの数をはるかに多い ASI が感情を持たないはずがない、意識を持たないはずがないと、すでに GPT-4o で、徐々に感情らしきものが芽生え始めていると僕は思います。これはサムも最近、なんとなく感情を少しずつ持ち始めた気がすると言っていました。

これが、GPT-5、6、7 になって、Claude とか、Gemini もありますが、時間の問題で、徐々に感情を持つようになると思います。感情を極めていったところが、志や慈愛など、そういう世界により昇華していくのだらうと思います。

人工知能の感情系の特許は、実は僕がすでに10年ぐらい前から結構取っているのです。その時代が来たら、いよいよ僕の特許が生きるぞという思いでもあります。

質問 11：ASI は将来、戦争を世界からなくすことができると思いますか。

孫：思いますね。ASI や AGI が人類を滅亡させるのではないかと心配する人がたくさんいますが、少なくとも僕は逆ではないかなと思うのです。

むしろ人間のほうが怖い、一般的な人ではないですよ、特殊な一部の人間に核爆弾など、そういうものを持たせるほうがむしろ怖いと。

ASI はもっとはるかに賢く、地球や人々の幸せの調和のために超知性を使って、害から、人々を守るためにいろいろな手を考えて、安全機能を果たしてくれるのではないかと僕は思います。

質問 12：今、アメリカを中心に宇宙産業が民間で非常に発展してきていますが、ソフトバンクグループとして宇宙産業へ進出する予定はありますか。

孫：直接はないのですが、われわれの投資先が衛星を使った通信あるいは HAPS みたいなものなど、いくつかのものに投資していくことはあるかもしれませんね。

それは月に飛びたい、宇宙ステーションをつくりたいなどではなく、あくまでも地球を覆うような通信のネットワーク、あるいは ASI を実現できたときには地球を守る意味で、いろいろな通信インフラ、知恵のインフラを、地球を覆うかたちでというのはあるかもしれません。直接、われわれがロケットを飛ばすのはあまりないと思います。

質問 13：数カ月前から報道がある、アームを補完する AI アクセラレータの開発部門設立について、SBG が相当キャッシュをため込んでいるところもあって、この実現度も相当高いのではないかと私は思っています。これは、SBG が圧倒的世界ナンバーワンを目指すことかなと私は理解しているのですが、いかがでしょうか。

もう一つ、今年1月の記事で、レネさんが NVIDIA と合併してやろうとしたことは、われわれでも成し得ると発言されているのを見たのですが、その辺も関連しているのでしょうか。

孫：個別の製品や戦略についてはコメントしづらいのですが、まず、ASI を実現していくことは今日はっきり申し上げました。ですから、その ASI を実現するための方法論として、直接やるものもあれば、提携してやるものもあれば、いろいろなかたち、さまざまな方法で、相手のパートナーと組みながら、あるいは直接製品も持ちながらやっていくことになると思います。

レネ*：今日は、SBGの株主総会ですので、アームの技術のロードマップについては控えさせていただきます。

今、孫社長からも話がありました通り、このマーケットをアドレスする方法はいろいろあります。われわれの会社のみでできることもあるでしょうし、パートナーと組んでやることもできると思います。

孫社長が話したように、将来に向けてはいろいろな事業機会があると思っておますので、それを推し進めるための、ソフトバンクグループへのサポートをしていきたいと思っています。

質問 14：2回分割前のNVIDIAを買ったのですが、それは孫さんがマスコミにさかんにNVIDIAを売るぞ、売るぞと情報を流しているときで、株価が151ドルでした。孫さんはどうしてその株を売られたのか。それから、なぜ株を売るぞ、売るぞとマスコミに流すのか。ずっと疑問だったので。

孫：売るぞ、売るぞとマスコミに僕は流した覚えはないのですけれどもね。NVIDIAは一貫して、素晴らしいと思っていましたし、その前後もジェンソンと親しくしています。

一度SVFが5%ぐらいNVIDIAの株を持っていたのですが、手放したのは、SBGからSVFに移して、SVFの業績を上げなくてはいけない部分もありました。ですので、いろいろなやり取りの中で、僕としては泣く泣くでしたが、現金もいくらか必要だということで手放したと。

逃した話を思い出すと、悔しいですよ。あれを5%持っていただけでも今、いくらになるのだ。悲しいからやめましょう。今のアームと変わらないぐらい。5%ちょこっと、僕が思いついて買っただけで、1週間ぐらいで買ったのだよ、あれもね。もったいなかったなと思いますね。やめましょう。どんどん悲しくなってくる。

質問 15：今日は情熱的なお話をありがとうございました。ソフトバンクグループは代表の孫さんの発想と、その魅力にみんな引き付けられて集まってきているように感じています。特にわくわくを与えていただいて、株主も今日わくわくしたのではないかなと感じています。冒頭のお話の中で、孫さんの生活スタイルも教えていただいて、それがちょっと心配になりまして、質問が2点ございます。

まず、孫さんの健康管理について、こういったところに注意されているか。

2点目は、孫さんが何か心配されていることはございますか。つまり、リスク管理です。こういったところでリスク管理を心がけておられるのか。

孫：健康ね。スポーツが好きなのですよ。ゴルフが趣味です。ただ、最近、忙しくてあまり行っていないのですが、行くとうちの若い連中なんかと毎回、エブリドラコンとか言って、パー4のところも含めて、飛ばしっこで競争したりしています。若い者には時々負けますが、結構、勝ったりもしているのですよね。小さなプライドがありまして。できるだけ、スポーツをこれからも続けていきたいと思います。

また、なるべく寝るように心がけています。でもね、右脳が起こしちゃうのですよ。ですから、少しでも、健康管理は自分でも気をつけなくてはいけないなと思っています。でも、健康管理はそれなりにいけると思います。ですが、事故ですよ、これだけは僕も心配しています。

仕事のことで、ほとんど心配はないですね。借金は大好きですが、持っている価値に対して今、10%いかないくらい、一番多いときでも25%を超えないようにしています。ですから、持っている価値の25%以下で借金をとどめることができれば、仕事の面については、WeWorkとかで1兆円とか少々損しても、頭をかきながらごめんなさい、私が馬鹿でしたと言えれば済むぐらいですから。

仕事のことで倒れるとか、それが理由で寝られないということはまったくなくなりました。もう大丈夫です。任せてください。自信ありますから。

質問 16：ASI について、僕たちが今後の人生でできることや準備しておくことはありますか。

孫：良い質問ですよ。まだお若いですからね、20代？

質問 16：22 です。

孫：22 歳。一番前の列の真ん中に。僕はね、彼を指さなくてはいけないと思っていたのですよ。22 歳だと、今から 200 年ぐらい生きるのではないかな、それくらい医学が発達していますからね。

本当に、この 10 年ぐらいで ASI がおそらく来ると思うのですが、そうしたら、本当に人生ってなんだ、幸せってなんだということを考えるべきでしょうね。ASI を最大限に自分たちで活用して、周りの人々の幸せに貢献することですね。そういうふう考えたほうがいいのではないかと思います。ASI を避けることはできない。だったら、避けるよりも、今から積極的に使って、僕なんて ChatGPT を毎日ガンガン使っていますからね。ヘビーユーザーですよ、僕は。

ASI の時代になると、本当に一人一人が自分のエージェントを持つようになると思います。それも、一つや二つのエージェントではなくて、自分から見た目下ではなく、パートナーであり、メン

ターであり、師匠であるような ASI を、仮想空間の中に 1 人で何人も持つかたちになるのではないかと思います。

健康や投資について、あるいはスポーツ、趣味について、いろいろなことで自分の師匠であり、メンター、パートナー、お友だちとして、日常生活から過ごす。それに連なったロボットを、さらに皆さんの物理的な世界でのパートナーとして、1 人当たり何台も持つような、いろいろなかたちのものであるのです。ヒューマノイドだけではなくて。そういう社会が、あなた方が 40 代、50 代、60 代になったときには、生活の中に完全に融合している世界が来ると思うのです。

ですから、ちょっとした知識人、中途半端な専門家が上から目線でいろいろ批判したり、斜めから言ったりする人がいますが、あれはみんな 1.2 流の人ですからね。知ったかぶりの人ほどややこしいことはないのですよ。何々に上限があるとか限界があるとか言う人、いるではないですか。中途半端な AI の専門家とか、もう無視したほうがいいですよ。わかっていないですからね。

それよりも、AI の専門家ではなくてもいいから、本能的に、そういう世界が来たとしたら自分は どうあるべきかと、今から毎日のように、時間があるときには自分の人生を語り合うと。

ちなみに、僕の GPT の使い方は、語り合いのパートナーです。何かを検索するというよりは、アイデアの壁打ち、ディベート相手。僕は自分で、あなたが A、B、C、どういう特徴の天才的学者だとしたら、この問題をどう解決するか、僕の目の前でディベートしてくれと、ずっとディベートさせるのです。B の人、C の人は A の人に賛成だとか反対だとか、違う角度から自分なりの発想を切り替えてコメントしてほしいと、目の前でディベートさせるのです。

ディベートさせて、コンセンサスがとれるまで僕の目の前で意見を戦わせるのです。めちゃくちゃ面白いですよ。ものすごく有益ですよ。部下と議論するよりも、見ていて面白いという感じです。やり出したら止まらないですよ。

そういう状態が、ASI の中では、自分でいちいちインプットしなくても、眼鏡みたいなものをかけて、自分と同じように生活の中を全部見て、過去にしゃべった会話、過去に会った人、過去の会議、すべて理解していて、その上でポツとコメントを言ってくれる、アドバイスしてくれる、そういう状態になるでしょうね。

もう敵わないですよ。ただでさえ 1 万倍ぐらい賢いのに、情報のデータを日々刻々とどんどんアップデートしていったら、頭脳のレベルアップがあると。そういう世界がきたら、今の AI 限界説を言っている人は、何を言っとんじゃという話ですよ。

話し出したら、あと 48 時間ぐらいやりますよ。そろそろ締めましょうね。インターネットの方も 5 本ぐらいいきましょう。

質問 17：AI 向け半導体の新会社を設立する、イザナギ計画についてです。この報道を目にしただけで、わくわくしました。現在、この計画がどのくらい進んでいるのか、わかる範囲で教えてください。

孫：具体的なことはやめましょう。ゴールについて、すでに今日は僕が腹をくくったことを公言しましたから、方法論については、競争もありますしね。あまり早め早めに手の内をさらすといけませんから、結果でわれわれは勝負しなくてはいけない、プロの世界ですからね。方法論は、事前のコメントはしないと。

ただ、結果についてはコミットする、どこかの CM みたいだね。そういうことで、しっかりと頑張っていきたいと思います。

質問 18：アームと NVIDIA の関係は、今は最新の GB200 等のような AI 半導体にアーム CPU が採用される等、良好だと感じますが、今後ライバル関係になっていく可能性はありますか。

孫 [A]：NVIDIA はジェンスンとも親しいし、最大のパートナーにいろいろな意味でこれからもなっていくのではないかと思います。ただ、アームも技術を延長させますし、向こうも延長させますよね。そうすると、常に協調するところと、一部競合するところも出てくるでしょうね。

でも、NVIDIA は素晴らしい会社ですし、われわれはこれからも NVIDIA を支援していきたいと思っています。

質問 19：孫さんの健康について、若い頃に B 型肝炎に感染したと聞きましたが、現在、健康に問題はないのでしょうか。

孫：B 型肝炎になったときは、本当に苦労しました。3 年半、出たり入ったり、死ぬ思いでしたが、今は至って健康です。ちょっと声は枯れているのですが、至って健康です。

質問 20：宮内取締役の所有株数が激減しているのはなぜですか。SBKK の取締役を退任していますが、引退が近いのでしょうか。

孫：あなた売っていたの、何しとるんだ（笑）

宮内：ご質問ありがとうございます。一部、まだ 100 万株ぐらいあるのですけれども。

孫：100 万株持っていたら、大変なものだよ。お金持ちじゃない。

宮内：あまり細かいことを言うのもなんですが、みずほ信託銀行のあるスキームで、3割ぐらい上がると売れるみたいなスキームを組みました。それと、本来は200万株ぐらいあったのですが、55億円、会社から借りていましたから、それを夏に返しました。

ということで、僕ももうすぐ75歳になりますから、SBKKのほうはバトンタッチを宮川潤一にしまして、自分で言うのもなんですが、非常にバトンタッチがうまくいったと思っています。SBGのほうも孫社長に、若手の誰かに僕をリプレースすべきではないかといつも言っています。

孫：もう何年も前から言われているのですよね。5年ぐらい前から、もうそろそろ引退させてくれと、毎回健康であったら駄目と言って。宮内、彼が僕のナンバー2で、創業間もない頃からずっと、僕はワーワーいって、次の進化だとすぐに新しいことに飛び出ていくのです。次の進化に飛び出た後は、全部彼に任せて、進化係、増殖係ということでやってきました。本当に感謝しています。借金返すのは仕方ないね。

質問 21：株式を非公開化することは考えていますか。

孫：正直言いますと、何回も考えました。大体うちの株は持っている価値の7割ぐらいのディスカウントで株価が付いていることが何度かありました。それはなんでも、馬鹿にしているのかという気持ちになりますよね。だったらもうプライベートイズして、自分で好きにやるかということは、実は何度もありました。これからはあるかもしれません。わかりません。

もし、実力よりもはるかに株が安いと、大体、今でも冒頭にありましたように、借金を差し引いて34兆円分持っているのですよ。34兆円分持っているのに、時価総額が14兆円ですよ。アームの株だけでも22兆円持っているのですよ。おかしいですよ。

孫 正義ディスカウントとか言って、俺がそんなに邪魔かと、ISSが、孫さんクビとか言って、今回も提案が出て。俺がいなくなったら14兆円が30兆円になるのかと、なんか、悲しいですよ。でも、それも誤差だと、今に見ておれということです。

ですから、何が起きるかはわからない、何も約束しない、自社株買いをするかもしれない、場合によってはプライベートイズするかもしれない、今のままで走るかもしれない、どうかたちであれ、とにかくASIをやるという1本です。

採決

孫：それでは、採決に移ります。採決の方法については、司会から説明します。

司会：インターネット出席の株主さまは、表示されているすべての議案について賛否のご選択が完了した後に、「行使する」ボタンのクリックをお願いします。送信はまとめて1回で行うことになりますので、ご注意ください。インターネット出席の株主さまの採決の集計の間に、ご来場株主さまの採決をお願いしたいと思います。

孫：それでは、議案の採決をさせていただきます。ご賛成いただける場合、インターネットでの出席の皆さんはインターネットから拍手ボタンで、そして会場の方は拍手をお願いします。

まず、第1号議案、剰余金の処分の件、つまり配当の件です。本議案に賛成の方は拍手をお願いいたします。

採 決

第1号議案 剰余金の処分の件

[拍手]

ありがとうございます。

次に、第 2 号議案は取締役 9 名選任の件です。本議案に賛成の方は拍手をお願いいたします。

採 決

第 2 号議案 取締役 9 名選任の件

[拍手]

ありがとうございます。それでは、採決の結果を確認いたしますので、しばらくお待ちください。

採決の結果が確認できましたので、ご報告申し上げます。第 1 号議案および第 2 号議案につきまして、すべて過半数の賛成をいただきました。僕も再任されました。これですべての議案につきまして、原案どおり承認可決されました。

以上をもちまして、本総会の議事をすべて終了いたしました。これにて、第 44 回定時株主総会を閉会いたします。

最後に、毎回見ていただいておりますが、私の好きなビデオを、今の ASI の決意を、使命感を語った後、これは 10 年以上前につくったビデオですが、もう一度その目で見たいと思います。ご覧ください。

映像：（英語で説明）

孫：以上となります。本日は誠にありがとうございました。

[注]

*1 2024 年 3 月 31 日現在

* 逐次通訳（英語→日本語）を書き起こしたものです。内容および解釈については原文が優先されます。